


<h1>「夢」</h1> <h2>振だより</h2>		<p>憲 みんなが自分の「夢」を持っている 「夢」を持ち続けることは生きる証</p> <p>章 ふくらんだ「夢」は明日への力となる 「夢」の実現には努力がいる 「夢」の輪を広げよう</p> <p>みんなの「夢」は日本中の人の「夢」につながる 徳之島の「夢」を世界の「夢」の輪にしよう</p>
		<p>徳之島「夢」振興会議本部事務局 豊島区西池袋3-25-15 TEL03-3987-4641 FAX03-5953-5622 一事務局〒141-0022 東京都品川区東五反田3-20-10-101 ト内 TEL03-5449-8321 91-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津1081 重岡 堯夫方</p> <p>編集 松元 啓一郎 他 IBビル2階（池袋西口・津田事務所）</p>
<p>第18号 YUMESHIN</p>	 <p>徳之島「夢」振興会議 ロゴマークの説明</p>	<p>「夢」の実生(みしよう=種から芽を出して成長すること)を表現 色彩…花は紅の情熱、葉は緑の活力 葉…双葉は象形文字の無限大、若芽は未来 花…歓喜…夢の表現</p>
<p>http://www.tokunoshima-yumeshin.or.jp/ 「夢」振興会議のホームページでもごらんになれます</p>		



「農業、観光/交流、情報」
島も自己実現の努力が大切な時代へ

NPO 法人 徳之島「夢」振興会議理事長 横田捷宏

昨年のNHK大河ドラマ「西郷どん」の余慶はまだ大きく残っているのでしょうか。関東鹿児島県人会連合会の今年の「ふるさと交流の旅」は沖永良部島と徳之島のホッピングツアーになり、10月5日から7日まで総勢35人のミッションが大歓迎を受けて両島を精力的に見学、観光してきました。初日沖永良部島の和泊空港には鹿児島、那覇経由の2チームに分かれて到着、翌日の徳之島行きは快適な2時間の船旅でした。団長の坂本副会長以下連合会の幹部、有力者が多数参加し、鹿児島県東京事務所の松下正所長（伊仙町犬田布出身）の助力もあって、各島の歓迎会は町長、議長始め町と議会の幹部、商工・観光、農業関係団体の責任者達がそろった数十人規模の盛大なもので、唄や踊りも素晴らしく、訪問者一同大感激でした。夢振の事業ではありませんでしたが、私も妻とともにこの旅に参加させていただきましたので、ご参考までにその状況を報告いたします。

私にとって沖永良部は鹿児島県庁に勤務時以来35年ぶりでしたが、和泊の西郷南洲記念館、南洲神社訪問は初めてで、格子牢の中で座禅する痩せ衰えた南洲像に向かい、ここで敬天愛人の思想が生まれたことに感無量でした。昇竜堂、琉球王朝にまつわる世の主遺跡、日本一のガジュマル、フーチャ（潮吹き洞窟）等大型バスで島巡りをする間、皆は風景の美しさに感嘆、また道路等が良く整備されていることにも評価の声がありました。60年にわたる奄振事業のお陰で各島のインフラ整備は進み、沖永良部で最大の課題であった農業用水問題（隆起珊瑚礁の島では雨水は地下に溜らず海に流出してしまう。）も、平成21年度には350億円に及ぶ国営事業により受益面積約1500haの地下ダムが完成し、解決に向かうとのこと。基幹作物のサトウキビやジャガイモの増収、永良部ユリを始めとする花卉栽培、収益性の高い畑かん営農などが進むことでしょう。季節柄かバスの中からはあまり沿道の植花や花畑は見られませんが、翌日のホテル玄関や和泊港のフェリー前には、前夜の懇談

会での対話の通り、計200個に及ぶと思われる永良部ユリやグラジオラスの球根が届けられ、団員一同大喜びでした。特に永良部ユリ（鉄砲百合）は明治30年代に同島に漂着したイギリス人がその美しさに魅され、横浜経由で輸出の糸口を付けたのが皮切りとかで、戦前から輸出、移出用の栽培が盛んになってきたそうです。大きな球根を自分の車で運び、笑顔で無料贈呈して頂いた平議長さんたちには心から感謝申し上げます。同時に花卉の栽培と販売を島の重要産業の一つとして育て発展させてきたことに対する自信と誇りについても学ぶところが多いと感じました。

徳之島では亀徳港に午後遅めに着き、目手久の「なくさみ館」に向かいました。闘牛が行われる日ではなかったのですが、驚いたことに館内には20人以上の人と精悍な牛2頭がいて、実戦そのままの闘牛が始まったのです。大久保伊仙町長が今回の旅程仕切り役の井藤さん（一般社団法人結いの島）から要請を受け、特別に「闘牛の訓練」を実施して頂いたようです。皆も掛け声をかけながら見守った勝負が引き分けに終わった後、闘牛資料館に町長が到着されて映像による徳之島の紹介があり、訪問団一同感慨新たに夜の歓迎会に向かうことが出来ました。「なくさみ館」は奄振事業で「徳之島地域文化情報発信施設」として設置されたものですので、まさにその目的通りの役割を果たしたといえます。歓迎会は3町の行政、議会、経済団体、県の徳之島事務所の幹部達がすべて集まり、大変な盛況の中交流が進みました。

7日朝一番の行事は、泉重千代翁銅像横で伊仙町長、議長も加わって、連合会訪問記念の植樹式。以前植えた桜のそばにトックリキワタ5本を植えました。これは岡村フラワー委員長、四本博文様、重岡所長（副理事長）始め夢振の島の幹部のご努力により、夢振の事業として実施することが出来ました。そのあとは、阿権の300年ガジュマル、犬田布岬、徳之島ダム、犬の門蓋、ムシロ瀬、ソテツトンネル、朝潮太郎記念像、西郷公園などなじみのコースでしたが、皆は島中で道路や橋が立派に整備されていること、自然や歴史文化だけでなく島全体に活気を感じられること、トイレが新しくきれいでトレイル（観光客の道）も歩きやすいなどの感想が相次ぎました。最近の施設整備は世界自然遺産登録を目指すこともあって数年前から進められてきたのでしょう。天城町南部に新設されたアマミノクロウサギ観察小屋では、夜行性のウサギこそいませんでしたが、皆この特別記念物の生態や痕跡に質問を続けていました。また、7～8年前に3町がそれぞれ11ヶ所ずつ選んだ徳之島33聖地についても、所在地近辺に看板が新しく設置されるなど地道な努力が進んでいるのが分かりました。たまたまこの日は、ユネスコの世界自然遺産委員会（ICUN）のチームが沖縄での調査を終える日で、翌8日から奄美に調査入りすることになっていました。町長達はその対応に追われるでしょうから、連合会の訪問タイミングは大変良かったとも言えます。来年夏には実現が期待されている世界自然遺産登録は、徳之島の今後について改めて重要な問いかけを発するようと思います。島人、3町は島の自然、文化、歴史や人の温かさといった魅力・特性を生かし、どのように交流拡大を図っていくかという課題です。

夢振の物産、花などの活動もさらにどう進めていくのが良いか、外来種への対応を含めみんなで考え、島側とも相談していきましょう。花を植える活動は、島の方々が夢振を信頼して一緒に取り組み始めてからしっかり根付いてきたように思います。桜は島人の憧れでもあります。フラワー運動が始まった頃、天城岳に200本の苗木を植えたものの全て枯らしてしまったこと、公共施設のそばに植えた立派な苗木10本がなぜか消えてしまったことなどつらい経験もありました。しかし、井ノ川での横濱先生の所有地、そして岡前の西郷ロードと100本ずつの桜の植樹が続き、これらは地元有志の方々のお世話により順調に育っています。コミュニティの花は、苗木の頃から見守り、成長を助け、予想外の被害から守るという、子育てのような努力があって咲き続けるのです。夢振が続いている小中高校の新生による植樹は、それに貢献してきたと思います。昨年、徳之島町60周年行事で花いっぱい活動により表彰された篤志家の多くは、夢振結成以前から頑張ってきた方々でした。母間の大当集落では今年2月に桜祭りが行われ、夜は青年団によるライトアップで大賑わいだったということも情報紙「月間と

くのしま」の竹山さんから聞きました。ここの桜は150本もあり、すべて児島静男さん（今年8月にご逝去）という方が長年かけて自力で植え、育てられたものだそうです。徳之島での「花」は沖永良部のように島の経済を支えるものでないだけに、これまで行政や経済団体のメインテーマにはなりにくかったようです。しかしこれからは、物産・観光の振興と連携し、花を奄美振興の鍵の一つにしなければと思います。

本稿の表題にある「農業、観光/交流、情報」は、奄美群島の12市町村（奄美群島広域事務組合）が策定した「奄美群島成長戦略ビジョン」（令和元年～令和5年度の後期計画）において、重点3分野として強調されている項目です。奄振事業は引き続き群島の抱える条件不利性の改善、生活基盤の確保・充実のために実施されますが、地域の主体的取り組み、自己実現のための努力はさらに重要になります。この戦略ビジョンは、若者がチャレンジし、全ての「島ちゅ」が主人公になり、世界の人々に魅力伝える宝の島を実現することを目標に、3つの重点分野を基軸として、雇用の創出に重点を置いた産業振興を目指そうというものです。ビジョンは島ごとにも作られていますので、徳之島のビジョンをよく勉強して、夢振の今後の活動の参考にしたいと思います。夢振も創設以来すでに17年、輪を広げ、若い人の発想なども入れながら、改めて「夢」の中身を語り合う時期になっているように思います。



・NPO 法人徳之島「夢」振興会議 理事長

(財) 鹿児島奨学会理事

(財) 奄美奨学会理事

NPO ふくしま再生の会 監事

横 田 捷 宏

(伊仙町出身)

Mail : k-yokota@y8.dion.ne.jp

NPO 法人徳之島「夢」振興会議 相談役
関東徳之島町会顧問 関東神校会顧問

村 岡 清 男

(井之川出身 87 才)

「夢」振設立企画委員の一人として尽力、故郷徳之島に南国のきれいな花をいっぱい植えて、わきゃ島の美ら島づくりプロジェクトを提唱、島の花いっぱい運動は全国各地の島関係者にも呼びかけてこれからはもう一つと続けましょう！

〒195-0061 東京都町田市鶴川3-4 ココファンまちだ鶴川212号室

TEL/FAX: 042-734-2938 携帯電話 090-3406-5566

Mail: s822@Pony.ocn.ne.jp

フラワー会員になって

めざそう “徳之島に100万本の花を”

有限会社 ニッコー通商

代表取締役

岡村 隆文 (伊仙町 阿権出身)

〒108—0071 東京都港区白金台2—27—7—601

【故郷を花一杯にするのは私たちです。

帰郷時に母校等に記念植樹をして、明治時代は学問日本一の徳之島、現在は長寿、子宝日本一の徳之島、そして、これからは「花の徳之島」日本一を私たちの手で作りましょう】

ユタカ不動産

誠実・公正をモットーに奉仕する

豊 竹光・静子 (旧姓 保井)

〒894—0016 奄美市名瀬古田長3—6

T E L : 0997—52—7998

特定非営利活動法人徳之島「夢」振興会議
2018年度 臨時総会 議事録

記録者 町田憲孝

- 1.開会14:00～15:45 司会:松元 啓一郎 事務局長
- 2.開会宣言 専務理事 町田憲孝
- 3.理事長挨拶 横田捷宏
- 4.会員出席者（順不動 敬称略):横田捷宏、雪山渥美、津田和紀、松田健一、岡村隆文、川畑進、井上脩士、井上洋子、幸田晋典、宮原たつ子、木村浩子、大吉廣子、勝光重、松元啓一郎、四本博文、矢島和義、福井巖、稲村義雄、平山徳廣、平山典彦、福山博明、町田憲孝 以上正会員
土岐邦成、遠藤美恵子 以上賛助会員
井上正士氏、松林純子氏、新井田勝氏、上田義明氏:以上非会員（会員知人）
. 以上出席者28名

第一部：報告事項

1. 2018年度前半活動報告 専務理事 町田憲孝
- (1) 2018・6・3「夢」振2018年度通常総会開催（於：ニューオータニイン東京）
（本総会にて下記項目実施した旨報告 . . . 下記内容は全て会報誌17号に掲載）
 - ① 2017年度一般事業報告 専務理事 町田憲孝
 - ② 2017年度フラワー活動報告 フラワー委員長 岡村隆文
 - ③ 2017年度徳之島産物販売報告 物産販売担当理事 宮原たつ子
 - ④ 2017年度会計報告及び監査報告 宮原会計担当理事及び矢島和義監査
 - ⑤ 2018年度事業計画（案）上程→満場一致で承認され決定
 - ⑥ 2018年度会計予算（案）上程→満場一致で承認され決定
 - ⑦ 1回/2年の役員改選実施
 - ⑦-1 天城町代表田川忠良副理事長 解任（高齢により本人に強い申し出）
 - ⑦-2 松林清雄相談役 解任（体調不良により退会）
 - ⑦-3 信寛良理事 解任（体調不良により退会）
 - ⑦-4 正会員の松元啓一郎氏・四本博文氏・畑山育男氏・関和彦氏を理事に上程→満場一致で承認され決定
 - ⑦-5 松元啓一郎 新理事を新事務局長に上程→満場一致で承認され決定
- (2) 2018・6・3「夢」振2018年度第1回理事会開催
（於：ニューオータニイン東京）
 - ① 新理事誕生により新たに理事長・副理事長・専務理事を互選により全員留任
 - ② 天城町代表副理事長に上岡弘明理事を推薦し決定
- (3) 2018・8・5「夢」振2018年度第2回理事会開催
（於：(株)ユイワークサポート事務所）
 - ① 徳之島町制60周年記念行事に合わせて10/19～22 有志で帰郷し植樹祭・交流会・懇親会開催や10/20開催の徳之島町制60周年記念式典及び祝賀会出席等決める。
 - ①-1 航空機の手配は宮原理事が「一般社団法人 結いの島」と調整する。
 - ①-2 植樹祭の場所・時間等については岡村フラワー委員長が岡前集落の永井区長と連携して決める。
 - ①-3 交流会・懇親会の場所/懇親会の参加費用等については町田専務理事がホテルニューにしだと交渉。

- ①-4 植樹祭・交流会・懇親会の各町へのご出席依頼は徳之島町は津田副理事長、天城町は宮原理事、伊仙町は岡村理事が担当する。
- ①-5 宿泊施設の予約は町田専務理事が対応する。
- ②今年度発行の会報誌17号は10月の大イベント終了後、イベント内容・新理事挨拶・地元有志の投稿中心とする。
- ③2018年度通常総会の反省としてパワーポイントの操作不慣れで講師の金丸先生にご迷惑をお掛けしたが講演会は大好評であった。

(4) 2018・9・29「夢」振2018年度第3回理事会開催
(於：五反田ユイワークサポート事務所)

- ①2018年度臨時総会兼忘年会の日程決定→2018・12・16(日)
場所・時間等は宮原理事がホテル側と調整。
- ②10月の故郷イベントの出席要請についてはマスコミ関係は町田専務理事、県事務所は横田理事長対応。
- ③「夢」振名刺希望者は故郷会員は無料、その他は100枚2,000円で作成する
(「夢」振ロゴマーク入り)。



特定非営利活動法人徳之島「夢」振興会議

2019年度 通常総会議事録

令和元年6月9日(日) 於：ニューオオタニイン東京
議事記録者 大吉 廣子、松元啓一郎

1. 開会14:00・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・司会：松元啓一郎 事務局長
(故人：松林清雄氏、東勇吉氏、村上美代子氏、徳山善男氏、松田祐蔵氏の御霊に感謝を捧げ、冥福を祈って黙祷)
2. 出席者の確認 正会員(99名) 本人出席(27名) (委任状57名、他に押印ナシ委任状2名)
3. 理事長挨拶・・横田捷宏
4. 招待客紹介・・松元啓一郎 事務局長
5. 招待客：順不動・敬称略
松林純子氏(徳洲会会長) 代表挨拶
岡村勇氏(関東天城町会会長)・松山哲則氏(関東徳高同窓会会長)
戸恒慎司氏(南海日日新聞社、東京支社長)
高田賢一氏(奄美新聞社、東京支局次長)・金丸弘美氏(食総合プロデューサー)
新井田勝氏(関東天城町会幹事長)
- 会員出席者(順不動 敬称略):横田捷宏、徳田昌則、村岡清男、雪山渥美、河島良政、津田和紀、弥元広良、藤本勝博、市村康、川畑進、岡村隆文、宮原たつ子、井上脩士、幸田晋典、福田毅雄、松林純子、大吉廣子、矢島和義、関和彦、井藤守仁、加川武志、町田憲孝、木村浩子、勝光重、福山博明、松元啓一郎 以上正会員25名
千葉タズエ、當英樹・・・賛助会員、吉田治美氏・吉田ミチ子氏・・・会員知人
「一般社団法人結いの島」参加者、内村真紀子氏、石井正巳氏
6. 議長選出 議長 井藤守仁
7. 議事録署名人選出(大吉廣子)()
8. 議事
第1号議案 平成30年度事業報告(14:15~14:35)
(1)一般事業報告(資料1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・町田 憲孝 専務理事
(2) フラワープロジェクト活動報告(資料)・・・・・・・・・・・・・・・・岡村 隆文 フラワー委員長
(3) 特産品販売報告(資料)・・・・・・・・・・・・・・・・宮原 たつ子 物産販売担当 理事

第2号議案 平成30年度会計報告及び監査報告（14：35～14：45）。

- (1) 平成30年度会計報告（資料）・・・・・・・・・・・・・・・・宮原たつ子 理事
- (2) 平成30年度監査報告（資料）・・・・・・・・・・・・・・・・矢島 和義 監事

第3号議案 令和元年度事業計画（案）（14：45～14：55）

- (1) 全体事業計画（案）（資料1及び資料2）・・・・・・・・町田 憲孝 専務理事
- (2) フラワープロジェクト活動（案）・・・・・・・・岡村 隆文 フラワー委員長
- (3) 特産品販売活動取組(案)・・・・・・・・宮原 たつ子 物産販売担当 理事

第4号議案 令和元年度会計予算（案）（14：55～15：00）・・・・・・・・宮原たつ子理事

第5号議案 会報誌 第18号発行の件（15：00～15：10）・・・・・・・・松元啓一路 事務局長

第1号議案～第5号議案の質疑応答（15：15～15：35）

その他（15：35～15：50）

- (1) 田川忠良（副理事長）感謝状贈呈 代理受理（岡村隆文、後日郵送）

15：50閉会

15：50～16：00 休憩

第2部 基調講演（16:00～17:00）・・・・・・・・講師紹介 松元啓一郎

講師：鹿児島県東京事務所、所長 松下 正 氏

演題：奄美大島・徳之島を世界自然遺産へ

松下正氏プロフィール（まつした・ただし）

1961年、伊仙町生まれ。町立犬田布小学校、熊本マリスト学園中学・高校から鹿児島大学法文学部卒
85年鹿児島県庁入庁、垂水市副市長、3回の離島振興課勤務などを経て、この4月から鹿児島県東京事務所長に就任。同郷の直子 夫人は鹿児島市内の高校勤務、一男一女は成人している。56歳。

第3部 懇親会(17:05～19:00)・・・・・・・・司会（河島良政 副理事長）

(1) 顧問挨拶・・・・・・・・徳田 昌則 顧問

(2) 来賓ご挨拶・・・・・・・・ 関東天城町会会長 岡村勇氏
金丸弘美 食総合プロデューサー

(3) 開会挨拶及び乾杯の音頭・・・・・・・・雪山 渥美 相談役

(4) 余興1：島唄 井上弘樹 様

(5) 余興2：天城町エイサー隊 代表 池上政博氏他5～6名

(6) 余興3：全員舞踊、「花の徳之島」

(7) 締め挨拶・・・・・・・・津田和紀 副理事長

社団法人 鴻巣市医師会立
鴻巣准看護学校

校長 **井上 脩士**

学校 埼玉県鴻巣市中央2番2号

〒365-0032 TEL:048-543-1812

FAX:048-543-1810

ホームページ: <http://www.sakitama.or.jp/kfma/index.html>

内科・小児科・胃腸科
北鴻巣クリニック

院長 **井上 脩士**

〒365-0073 埼玉県鴻巣市八幡田531

TEL:048-596-1423

FAX: 048-596-6139

Email: yuclinic@kjd.biglobe.ne.jp

『徳之島フラワー（花・木）植樹100万本にむけて』
（皆さんの知恵をお貸し下さい）

「夢」振 専務理事 町田 憲孝

1. フラワープロジェクトに対する「夢」振の歩み

「夢」振は2002年6月の発足以来故郷徳之島のフラワーアイランド化を目指して「10年掛けて花・木を100万本植えよう」を合言葉にこれまで18年間たゆまぬ努力をして来ました。その間徳之島で7回のフラワーサミット開催やそれ以外にもフラワーに関する交流会の開催、1,000万円以上の浄財を多くの支援者のご協力を頂いて集め、注ぎ込んで来ましたが、この18年間の植樹の実績は4万本前後に留まっています。

しかも台風襲来の潮風や真夏の強烈な日照りで半分以上が枯れてしまっているのではと危惧しています。この為、ここで一旦立ち止まって、その原因や対応について冷静に皆で考えましょう。

2. 目標大巾未達の原因として考えられる事としては。

まず一つ目は大きい目標を立てると、それに向かって最大限の努力をするので、少しでもそれに近づくと考え目標を非常に大きく「10年100万本」に決定した事だと考えます。ただ、この目標はあまりにも大きかったかも知れません。二つ目は県道や各公園等にハイビスカスやブーゲンビリア等が咲き誇っていると島民や観光客の心を和ませ、徳之島のイメージアップになると考えましたが、やはり台風の潮風にも強く3町の町木でも有るソテツ・ガジュマル・アダンや島百合・クロトン・チバア（ツワブキ）等昔から島に生えている花・木を中心にした方が良かったかも知れません。

3. 今後の動きについて

「継続は力なり」のようにこの18年間は決して無駄ではなく、現在多くの集落でフラワー活動を熱心に取り組んでいるグループや個人がいます。「夢」振としては側面からの協力体制、すなわち、これらの熱心な活動グループや個人に対して要請に応じて出来る限りの浄財の面から苗や肥料だけでなく、お茶菓子位も提供して、花・木を愛でる生甲斐サークルのようなものを自治体とも協力しながら進めて行けたら大きな可能性も期待できるのではないかと思います。もっとも、島民の方々のフラワー活動の継続や島外から島を訪れた方や帰郷した方々が何時でも、植樹が出来るように苗木センターの様なものを作って頂き、そこに「夢」振が支援して、直ぐ供給出来る体制の実現を夢見ています。是非個人又は団体組織の苗木センター設立を切望しています。

数年前、天皇陛下の全国植樹祭神奈川県大会に小生在住の秦野市が選ばれた時、会場までの道にオーナー制

を導入した結果、沢山個人の名前入り桜の植樹やプランターが並びました。それに類似したやり方として道沿いの各商店や公共施設、ホテル、レストランや遊技場等に希望を募って、希望して頂ける所には、その施設前に「夢」振の名前入りのプランターを貸与してあげればどうでしょうか。手始めの1例として天城町は平土野集落・伊仙町は伊仙集落・徳之島町は亀津集落に集中してやれば、順次他の集落からも要望が沢山来るのではないかと考えたりもしております。何よりも故郷サイドの希望に従い、各集落との連携の醸成重視をする事により目標に大きく前進する可能性が有るのではと思います。故郷サイドを中心に皆様の提言をしく願います

ふるさと：心の支え・掛替えのない財産

NPO法人徳之島「夢」振興会議

専務理事

町田 憲孝

(井之川出身)

〒257-0056 神奈川県秦野市新町10-27.

TEL/FAX: 0463-81-5684

Email: hatamach@yahoo.co.jp

心訓 (福沢 諭吉)

1. 世の中で一番楽しく立派な事は一生涯を貫く仕事を持つ事です。
1. 世の中で一番みじめな事は人として教養のない事です。
1. 世の中で一番さびしい事はする仕事のない事です。
1. 世の中で一番みにくい事は他人の生活をうらやむ事です。
1. 世の中で一番尊い事は人の為に奉仕して決して恩をきせない事です。
1. 世の中で一番美しい事はすべての物に愛情を持つ事です。
1. 世の中で一番悲しい事はうそをつく事です。

『 徳之島フラワーアイランドへの歩み 』

2代目フラワー委員長 雪山 渥美 (現「夢」振 相談役)

1. 花いっぱい運動取組への歩み

平成14年6月(2002年)「夢」振興会議発足当時、初代フラワー委員長である村岡清男氏(井之川出身現「夢」振相談役)が当時母校の神校地区で「花いっぱい運動」に取組んでおり、これを徳之島全島に展開してはどうかと云う事で、徳之島在住の皆さんの意見を聞く為にアンケートを取った所80%以上の方々是非全島に花木をと云う希望を持っている事が分かり、「夢」振設立の3本柱(①徳之島をフラワーアイランドにして多くの観光客を呼び込もう②徳之島の特産品・農産物を全国販売をする手助けをしよう③東京に徳之島会館を建設して徳之島出身若者の受験や就職時一時的に宿舍を提供して側面から支援しよう)に指定しました。

フラワーアイランド構想については村岡清男初代フラワー委員長と共に、徳之島に10年間に「100万本の花木」のキャッチフレーズで、早速2003年1月に郷土訪問メンバーを募り27名が帰郷して井之川集落の県道沿いに100本のハイビスカスの苗木植樹を皮切りに、同年4月には徳之島全小学校の入学記念植樹、その後全中学校・高校迄徳之島全校に範囲を広げ2013年迄10年間入学記念植樹事業は継続して来ましたが、植樹する場所等の問題も有、学校間の受け入れ態勢に温度差も出て、その後アンケートを取って希望する学校のみ継続する事にしております。また、故郷での同窓会記念植樹や各種徳之島観光記念植樹にも積極的に取組んで来ました。この10数年私自身も毎年1回ないし2回花植えに帰郷しておりました。下記写真はその一部です。



埼玉県倫理法人会キャリア会の徳之島訪問記念植樹の皆さん(平成23年5月) 天風会経営者懇話会の徳之島訪問記念植樹の皆さん(平成25年3月)



東京奄美会の徳之島訪問記念植樹の皆さん（平成22年5月）

2. フラワーアイランド構想の定着化に向けて（フラワーサミットの開催関連）

- ① フラワーアイランド構想の定着化は故郷在住の皆様との協力・協調が必須です。一緒にフラワー活動展開の意思疎通を図る為、これ迄7回関東在住会員が帰郷して一緒に記念植樹やフラワーサミットを開催し、活発な議論を展開しました。

第1回サミット開催：2006年10月13日（徳之島町亀津 ホテルニューにしだ：50名以上出席）

出席者：鹿児島県徳之島事務所長・伊仙町町長・徳之島町助役・天城町助役・3町教育長・3町議員有志・3町総務課長・企画課長・全島小中学校長会会長・全島小中学校教頭会会長・観光協会会長・商工会会長・連合青年会会長・徳高新旧校長・ライオンズクラブ有志・全島区長会有志・ワイド21徳之島有志・「夢」振メンバー

第2回サミット開催：2007年10月5日（伊仙町 中央公民館：50名以上出席）

出席者：鹿児島県徳之島事務所長・3町町長・3町教育長・3町議長・3町総務課長・「夢」振メンバー

第3回サミット開催：2008年10月20日（徳之島町亀津 ホテルニューにしだ：60名以上出席）

出席者：鹿児島県徳之島事務所長・徳之島町町長・伊仙町町長・天城町教育長・3町各課長・他・「夢」振メンバー

第4回サミット開催：2009年10月19日（天城町役場 会議室：60名以上出席）

出席者：鹿児島県徳之島事務所長・鹿児島県徳之島事務所建設課長・3町教育長・3町各課長・3町各区長・他・「夢」振メンバー

第5回サミット開催：2012年10月29日（伊仙町 ほうらい館：100名以上出席）

（「夢」振創立10周年記念「故郷での集い」・・・花と結いのシンポジウムとして開催）

出席者：前奄振統括振興官・鹿児島県大島支庁長・鹿児島県徳之島事務所長・伊仙町町長・徳之島町町長・奄美群島観光物産統括リーダー・3町観光協会会長・マンゴー生産者代表・徳之島町美農里館代表・他・「夢」振メンバー

第6回サミット開催：2015年5月21日（徳之島町亀津 ホテルニューにしだ：40名以上出席）

出席者：3町役場関係者・徳之島観光連盟・3町フラワー活動推進者・3町区長代表者・他・「夢」振メンバー

第7回サミット開催：2016年11月3日（天城町役場 会議室：40名以上出席）

出席者：鹿児島県徳之島事務所長・3町役場職員・徳之島観光連盟・徳之島「虹の会」3町区長有志・

島「虹の会」・3町区長有志・フラワー活動推進者・「夢」振メンバー

- ② 長期継続には資金が必要です。苗木の購入資金・肥料代・ボランティアで汗を流し、植樹している方々へお茶菓子代等々、その為に「夢」振会員のみならず、多くの皆様へ浄財のお願いをしました。徳之島出身経営の会社を訪問して浄財をお願いしたり、私がフラワー委員長時代出来るだけ多くの皆様からそれ程負担にならないようにの考えで浄財は年間2,000円と決めてお願いしました。
- ③ 課題も山積しております。まず一番大きな問題は手入れ無くしては育ちません。徳之島の真夏の暑い炎天下や、時々襲来する台風の潮風で植樹が枯れてしまう事です。サンセットリゾートホテル庭園に植えたハイビスカス等はホテル側の手入れが行き届き開花が楽しめますが道沿いに植えた花木は管理が不十分で大半が枯れてしまいました。この為、責任者等決めていかに細かく手入れや管理をしていくかが重要と感じております。

3. 今後のフラワー活動について

- ① 「夢」振のフラワー活動も初代の村岡清男委員長、2代目私雪山渥美、そして現在は若手の岡村隆文委員長と世代交代しながら常に故郷側とコンタクトを取りながら推進して参りましたが、全体的に「夢」振も高齢化して来ていますので早く若手を育てバトンタッチしていける体制作りが急務と考えております。
- ② 昨年の徳之島町制60周年記念式典では私共の仲間で、個人4名と4つの団体が「花いっぱい運動」で徳之島町役場より感謝状を贈呈されました。感激しました。それ以外にも池間の赤崎富士郎さんは長年集落で花いっぱい運動に取り組んでいます。また、伊仙町では阿権の一・一会の米山寿八郎氏や伊仙町婦人会では平美香子さん中心に花いっぱい運動に取り組む、天城町でも田川忠良さんは長年空港の花壇を管理してくれておりますし、岡前の永井区長は西郷公園の緋寒桜の管理をしっかりして頂いております。このように各集落毎に熱心にフラワー活動に取り組んで頂いている状況を肌で感じ、今後に大きな期待をしております。

最後に私は「夢」振発足と同時に、この20年近く故郷のフラワーアイランド構想に携わる事が出来て非常に幸せだと思っています。今後も、今の健康状態を維持しながら、側面から精いっぱいフラワー活動をサポートして行きたいと思っております。これまでの皆様のご支援に感謝します。ありがとうございます。

<p>鹿児島にある自社工場にて製造！ 大手の販売店様にも卸しています。</p> <p>額縁、絵画、画材</p> <p>取締役会長 雪山 渥美 代表取締役社長 雪山 大</p> <p>アルナ 額縁 検索 http://aluna.co.jp</p> <p>株式会社アルナ</p> <p>本社 〒336-0974 埼玉県さいたま市緑区大崎2562-26 TEL 048-878-4811 FAX 048-878-4823 鹿児島工場 〒895-0052 鹿児島県川内市冷水町字上床551-7 TEL 0996-27-0881 FAX 0996-27-0882 福岡営業所 〒816-0922 福岡県大野城市山田4-18-3 TEL 092-592-0745 FAX 092-581-9088 メアドアドレス:info@aluna.co.jp</p>	<p>最新カタログ無料配布中！</p> <p>表装修復</p> <p>会長 雪山 渥美 無料 社長 雪山 靖 相談承り中！</p> <p>修復・額縁・額装・絵画・表装</p> <p>がくぶち屋の 雪山堂</p> <p>●本社・工房 〒336-0974 さいたま市緑区大崎2562-1 TEL 048-812-1341 平日9:00～17:00 土日祝 定休 ●浦和店 〒336-0011 さいたま市浦和区高砂1-12-1 コロン4F(伊勢丹) 浦和西口徒歩2分</p> <p>●修復例の実例あり！ 雪山堂 検索 http://www.setuzando.co.jp</p>
---	--



徳之島の秋を彩る花たち



※ 希少植物



サキシマフヨウ



ツバキ



徳ダイシギク



ハマトラノオ



イソマル



イソサキ

NPO法人徳之島虹の会の紹介

徳之島虹の会は、自然や歴史、文化など徳之島ならではの魅力を知りたい！伝えたい！そのために学びたいと島を想う人が集まり、2011年に設立しました。設立当初は青少年健全育成を活動の中心に据えていましたが、徳之島の多様な豊かな自然とその中で永く育まれた人の暮らしを次世代へ受け継いでいくために、継承活動の盛んでない“自然”分野の活動（パトロール、清掃、環境教育など）にも重点的に取り組んでいます。世界的にも貴重な価値を有すると認められ、世界自然遺産候補地にもなっている徳之島を誇りに思う島人の輪『島にじ』が広がることを願っています。

徳之島の  冬 を彩る花たち

※  希少植物



オオアマミテンナンショウ



サクラツツジ



キレツチトリモチ



オムラアオイ



オキナワギク



ヒカンザクラ

徳之島には、固有種を含む希少野生動物植物が多く生息・生育していますが、近年、盗掘・密猟・過剰採集の実態が頻りに確認され、生息地の減少が危惧されています。また、道路沿いや渓谷、山中などには、空き缶やたばこのポイ捨てゴミ・不法投棄ゴミ（海へ流れ出ると海洋プラスチックになる可能性が高い）が後を絶ちません。今ある美しく豊かな自然を未来に繋いでゆくために、このような現状を一人でも多くの島民に知らせ、ともに学び、ともに活動できるようボランティア清掃や親子自然体験、島民向けのエコツアーなどを企画し、実施しています。



2018年、奇形岩部林道で発生したツルラン盗掘。同じ場所と見えないほど顕著な光景に様変わり。



道路沿いのポイ捨てゴミ



山中の隠る所に不法投棄ゴミが...

賛助会員（年会費：5,000円）の募集、ならびにご寄付を受け付けています。当会の活動にご理解ご賛同いただける方はご協力をお願いいたします。詳しくは、右記事事務局へお問合せください。

NPO 法人 徳之島虹の会

〒891-8201

鹿児島県大島郡伊仙町伊仙 2324-1

Tel & Fax : 0997-86-3575

Mail : shimaniji@gmail.com

 facebook

虹の会の活動や徳之島のおもしろ情報などを紹介しています。どうぞご覧ください♡

熊野古道 膝栗毛(小辺路編)

夢振 副理事長 河島 良政

南の島で暮らす正次と江戸の暮らしの長い良太がこの世の思い出にと熊野詣に出かける物語です。遠い南の島で余生を送っているが糖尿病持ちの正次、江戸での雑踏暮らしが長く心身を病んでいる良太、お互い足腰も衰えを感じる年頃になった。一念発起、2人で熊野詣でをすることになりました。



旅の初めに浪速の都、道頓堀で落合い旅の安全を祈願して一席をもうけお清めをする。道中が不案内で心もとないだろうとあらかじめ紀州の山中の小さな十津川の村役場から懇切丁寧な絵地図を取り寄せておいた。

旅の道程は高野山の谷深くたたずむ金剛山三昧院という宿坊から河原辺川、十津川、熊野川本流沿いに熊野本宮までの十七里(約70KM)の小辺路と呼ばれる熊野詣の中でも修験道のような大和、紀州の山中を四つの峠と谷を乗り越えて八咫鳥のおわす熊野本宮に至る道のりだ。五月晴れの16日早朝、朝のお勤めも早々に三昧院を後にした。



まずは水が嶺を越えて野迫川村のかわらび荘と言う旅籠に宿を取る。

野迫川村は山深い谷合の部落で、熊や猪、鹿の猟がさかんで 早速夜の食卓には獅子鍋と鹿さしの御馳走が並んだ。



二日目、いよいよ難所の叔母子峠は越えた。海拔が1300M あり今夜の宿までは約五里(20KM)の道のり、おまけに朝から怪しげな雲行きで覚悟のはしていたものの昼前から雨足が早くなり 峠越えの道はがけ崩れで通れず山頂をまたいで山越えとなった。

三日目、三浦峠は距離こそ五里近いが難所もなく十津川村のやまと屋という温泉宿に投宿する。昨日から降り続く雨は止む気配は無く四日目、五日目と川止めを食らってしまう。

万事塞翁が馬よろしく、これ幸いに温泉三昧でたまっていた旅の疲れを洗い流した。六日目の朝、十津川村の山々が青空にくっきりとはえ、愛そうのいいやまと屋の女将さん手作りのおにぎりを背に いよいよ最後の難関、果無峠に挑戦だ。この果無峠、名前からはこの世の果てを思い浮かべるが 頂に広がる小さな平地には5—6軒ほどがのどかに暮らしている。



そこの岩本さんというおばあさんがモデルになったポスターはあまりにも有だ。

峠でやまと屋の女将さんが握ってくれたおにぎりとたくあんで空腹を満たすと、
さてさて峠も下りにかかる。

ふもとの八木尾部落までは峠道の路傍の観音様の札番で残りの道程が分かる。

観音様の札番が減っていくのを励みに一気に里まで下ってこれる。

ここから熊野の町までは田辺の里から延びる大辺地の街道と合流するので本宮さんへはひたすら歩いて二刻もあればいい。



大社様に近づくにつれ旅人の往来は次第ににぎやかになって来た。五月の空は気持ちよく澄み渡り参詣に訪れる人たちを一段と幸せそうに照らしている。

一世一大の望みを果たした正次と良太は由緒ある坪湯で名高い湯の峰の温泉宿で小辺路の旅の苦労話や楽しい思い出話を語りながら旅の疲れを流しました。



冷暖房設備・給排水衛生・空気調和工事

各設備施工・各保守サービス・電気

東菱工業株式会社

代表取締役
経営管理者

藤本 勝博

取締役技術者

藤本 修磨

〒154-0011 本店：東京都世田谷区上馬1-10-17

TEL：03-3424-5321（代表）

現 NPO法人徳之島「夢」振興会議理事

元 鹿児島県小中教員（昭31年～47年）16年間

元 神奈川県小教員（昭47年～平成5年教頭職4年）
21年間

元 神奈川県寒川町議会議員（3期・副議長）

松田 健一（徳之島町徳和瀬出身）

〒253-0103 神奈川県高座郡寒川町小谷3-2-46

TEL/FAX: 0467-75-5432 Email: ken-matsuda@kenichi-matsuda.com

「夢」振興会議の「花いっぱい運動」に参加して

一・一会 会長、阿権老人クラブ会長 米山寿八郎

岡村フラワー委員長の関係で夢振興会の「花いっぱい運動」で阿権集落に緋寒桜を寄贈頂き
植えつけました。

管理は先輩方の組織した「一・一会」と言う集落の美化作業等をおこなうボランティア活動の名前が有りまして、当初は活動を休止していたので、再結成して草刈り等をするようにしました。

先輩方が植えつけた桜並木も有ります。最初の2~3年は10人前後の皆さんが集まって、草刈りを午前中に終わっていました。時間が経つにつれて私用で参加できない人、話し合いの中で意見の違う人、色々と当初は考えられなかった問題が出て来て参加が少なくなり現在休眠状態です。

他集落で県道沿いをいつも季節の花を植えてきれいにしている所や空港ビルの鉢植えの水やり等、通るたび行くたびにうらやましく思っています。

自分の集落の場合、失敗した心当たりの理由を考えてみますと新しく話し合っただけで意見の一致した人達だけで結成した訳でなく集落にあったボランティアグループの名前で参加者を募った。

参加者が60歳代の人が多く、また現役で農業を営んでいる為自分の仕事を優先させる。集落の方のほとんどが農業か兼業農家で、定年しても自由な時間がない。専業農家の方は体が動かなくなるまで農業を続けるのでボランティアには参加できない。

昔は農家も現在みたいに毎日仕事に追われることもなく時間に余裕があった。この状況からしますとうちの集落みたいな小集落でほとんどが専業農家の場合ボランティアに参加する人が少なく管理作業はむずかしいのではと感じます。

それでも植えた緋寒桜は順調に育って今年是一本の花をつけました。来年は少なくとも数本が花を咲かせると思いますので木の回りはきれいに草刈りをするつもりです。

夢振興会議への敬意と助力

前徳洲会会長 松林 純子

夢振興会誌へのコメント掲載の依頼を受け、恐縮をいたしております。令和元年6月に会員になりました、天城町西阿木名出身の松林です。どうぞよろしくお願いいたします。

私事ですが「徳之島町制施行60周年記念式典」への参列の際は、夢振興会議の皆さんとご一緒させて頂き、その節は大変お世話になりました。また、徳之島「夢振」支部の方々との意見交換会にも出席をさせて頂き、花いっぱい運動の一環として、現地で携わっておられる方々の、花の手入れ、適した花・樹木等の選別のご苦労、今後の取り組みなどをお聞きし、関東の「夢」振興会議の皆さんと、徳之島の皆様との繋がりを感じ、意義ある活動が行われていることに感謝をいたしました。

私自身、郷里で、郷里の方々との触れ合いが出来たことにも感動をいたしました。

「ふるさとでのフラワーロードプロジェクト100万本の花いっぱい運動」は、私も、寄付金の参加等で了解はしておりましたが、長きにわたり活動をされ、目標の100万本達成に着々と進んでおられることに改めて敬意を表します。

故郷よりも、東京在住の歳月が長くなりましたが、故郷で過ごした日々の想いでは色濃く懐かしく郷愁にからわれます。

微力ながらも、夢振興会議会員の皆さんの一助ができたかと考えております。お役にたてば幸いです、どうぞよろしくお願ひ申しあげます。

史跡巡り『水神様(コーガミ様)』

夢振 理事（徳之島下久志在住） 畑山育男



我が故郷、下久志は、海岸の長さが約二、八キロメートル、干潮時の砂浜から沖までの浅瀬幅が最大約〇、七キロメートルと漁場が広く、島唄で「蛸がよく獲れる村」と唄われているほど、海の幸に恵まれた集落です。

また、志行川、三寿利川、堀切川、田行川など大小の川があって水量が豊富なため、明治末の銅山開発が始まるまでは島内
有数の稲作地帯でもありました。明治二〇年までは、集落名を久志と称していたが、宇検村の同一名と区別するために鹿児島
島の告示で現在の「下久志」と改称されました。

このような集落の守り神が水神様(コーガ
ミ様)で、徳之島聖地旧跡三十三か所の一つに指定されるなど、由緒ある神社です。

神社は、集落のほぼ中央の山手に位置するコウヌ山(神山)と呼ばれる聖地にあります。このコウヌ山は、大昔ノ口の神様が
馬でやって来て、川で身を清めた後に祭祀を執り行ったとされる場所です。水神様の祠は元々、聖地を背にした現在のキリス
ト教会辺りにあったが、明治の初めにこの聖地に祠を新築・移設して、現在に至ったと言われております。

祭礼は、旧暦の四月壬辰(みずのえたつ)の日(フージュウガン)と九月癸巳(みずのとみ)の日(ジュウガンブキチ)の年二回行
われております。その日は、区長と有志がお神酒(焼酎。サケイ)と料理(シュケイ)を持参して神社の横を流れる志行川の源流、
ユネイムトゥ(水元)を訪れて水取り神事を行い、絶えず水の恩恵が受けられることと、併せて家内安全や五穀豊穰を祈願しま
す。途中、水神様の迎え場所と言われている上川(ウインコ)でも同様の祈願をします。夕刻には、境内において、各家庭から
奉げられたお酒と料理で祝宴を催します。

各家庭からは、焼酎一合と海の幸・山の幸五切れ(昔は、十二切れ)が奉げられます。

神社には、この日のほか、正月や十五夜祭前日、種々の慶事日などにも大勢の方が参拝に訪れており、万事に渡り集落の守
り神となっております。

この境内に、本年四月、「徳之島『夢』振興会議」から贈呈を受けた緋寒桜の苗木三本を植えました。近い将来には、大勢
の参拝者の目を楽しませてくれるものと期待しております。植樹の状況は、末尾写真のとおり。

なお、この神社は、建立されて九十余年が経ち、荒廃が著しく大変危険な状態となっております。そこで、現在、集落を挙
げて再建に奔走しているところです。

皆さんが参拝に来られるころには、小さな社殿が落成していて歓迎することでしょう。

平成三十一年四月、水神様境内植樹



広がるボランティア

平 美香子（夢振会員 伊仙町在住）

ふるさと徳之島を遠く離れ、都会で徳之島に懐かしく思いを馳せている皆さん

お元気でしょうか。

それぞれの地で自分の力を発揮し、頑張っていらっしゃる事でしょう。

徳之島も高齢化は確実に進んでいる中、お互いに声かけ合い、支え合い、見守り合いながら、自分達のできることは、自分でと言う気持ちで元気で過ごしています。

さて、昨年役場前から宝来館までの県道沿いにハイビスカスを植え、台風の被害に遭いながらもコツコツと活動を続けた結果、今ではあの雑草だけの花園がハイビスカスをメインとして、色とりどりの花が咲き乱れ、雑草園がみごとに花園に変身しました。

それと前回の活動で残った向日葵の種、苗物等を隣の集落の方（皆さんもご存知だと思いますが、義典和さん、ヒロエさん御夫婦）に皆さんの集落の花園にどうですかとあげた向日葵の種が見事に成長して見事な花が咲くだろうと期待していたにもかかわらず、またしても台風の為、一晩でなぎ倒され、見る影もない状態。しかし、御夫婦は被害にめげる事なく、その後もコツコツと花園を耕し、本当にコツコツと花の苗をあっちこっちから見つけて、植え続けていました。

その様子に一人また一人と共に活動に参加してくれる方が増え、今は集落全員が心をつなげて花園の手入れに取り組み、私達の花園よりも色々な花が咲き乱れ、近くを通る度に誰かが花園の手入れをしているのを見かけます。

このように向日葵の種が成長し、台風の為花を見る事は出来なかったけれども一人また一人とボランティア活動に参加する方々が増えている事は確かです。

夢振興会の皆さんも徳之島（特に伊仙町）に帰る時は、役場～旧農業高校までの県道沿いの通りの花園を楽しんでいただきたいと思います。

もし高齢者の方が背中を丸め花園の手入れをしていたら、「きれいになりましたね」と一声、声を掛けて下さい。その一言で元気で頑張ろうと言う気持ちになれると思います。



伊仙県道沿い（ボランティアの方々）



がん予防の実証とがん撲滅の国民運動を！

NPO法人「ハック苦ねっと」

副理事長 徳田 昌則

〒989-3212 仙台市青葉区芋沢字権現森山82-14

URL <http://baknet.jp>

TEL : 0120-898-417

バック

画像診断では見えない微細がんの検出と免疫細胞BAK療法の組み合わせで、
「がん」を発症させないというがん撲滅の「夢」実現に取り組んでいます。

★登記手続代理(相続・売買・会社設立等)★簡易裁判所訴訟代理★成年後見★遺言執行★財産管理業務★債務整理

司法書士津田和紀事務所

徳之島町山出身 大島実高電気42年卒

〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-25-15 IBビル2F(池袋西口・東京芸術劇場西側)

NPO法人徳之島「夢」振興会議事務局

TEL:03-5953-5621

FAX:03-5953-5622

E-mail: tsudakz@tsuda-kz.com HP:<http://www.tsuda-kz.com/>

ふるさとの山にむかいて言うことなしふるさとの山はありがたきかな “

徳之島町町政60周年フラワー活動受賞者 泰良 トモエ (轟木在住)

何時だったか、集落行事でもあるお祝いの席で若い頃、教育関係の仕事に携わって来られた年配の方が啄木の詩を引用され挨拶された言葉が今でも印象に残っています。

轟木集落は山間部に位置し、周囲は緑のみに囲まれ澄んだ空気ときれいで豊富な水に恵まれている所です。その方は私達がどんなにすばらしい環境にあるかという事を伝えたかったのでしょうか。そうあるのがあたり前の様に思いがちな私達に大切なことを気づかせてくださったと思います。

正面には井ノ川岳が徳之島を見下ろすかの様に雄大にそびえ立ち、集落を囲むように四方に連なる山々は時代を超えて微動たりともせず、ゆったりとした佇まいで集落を見守っているかの様にさえ思われます。この地に生み育ててくれた両親に感謝。

いつかおばあちゃん(義母)が話していました。じいちゃんと喧嘩をして家を飛び出した所、親兄弟は皆、鹿児島の方へ引

つ越していたので行く当てもなく一人でまだ赤ちゃんだった私の主人をおんぶして山を眺めて“わたんみい（お腹いっぱい）泣いた”という若い頃の苦労話を聞かされた事があります。

今年になって母親二人を亡くしました。義母（104才）実母（103才）と大正、昭和、平成と激動の時代を生き抜いて来たその生き様は、二人とも息絶える最後の瞬間まで“自分らしく”人間として、親として、又一人の女性として生きる術を身をもって教えてくれた師でもありました。こんな凄い人が身近に居た事を子供として誇りに思います。“環境は人をつくる”とはこういう事かと実感している所です。

町政60周年事業の際に“花いっぱい運動”の感謝状について声がかかった時は自分としては受けるに値する程、頑張ってもいけないけど戸惑っていましたが、私が借りて植えている土地の地主さんが60周年記念事業の担当者でもありましたので“これから頑張ればいいや”と思いを新たにす次第でした。町政施行60周年という記念すべき年に感謝状をいただいた事は身に余る光栄に存じます。私自身古希という節目の年でもありましたので心機一転“出来る事を出来るだけ”頑張っていく所存です。

花に携わるようになり、早10年。特別に花が好きとか花についての深い知識があった訳でもなく、平成18年3月、仕事を退職し少し時間にもゆとりが出来たというかまわりの景色が目に入って来たのでしょう。自分の墓地の下の空地が草におおわれていた所、外の人から“そこへハブが逃げて行ったヨ”とか聞かせられハブの住家にならない様に花でも植えてみようという思いから始まった事でした。芙蓉、アジサイ、アラマンダ、さるすべり等さし木で植えたのが今では大分大きくなり、時期になったら必ず花を咲かせてくれます。

孫が6歳の時大阪から一人で里帰りして来た時のこと。記念樹としてゴールデンシャワーの苗木を1本亀津から買って来て、この子が成人する頃にはどんな木になっているだろうと期待をこめて植えたのですが、残念ながらまだ一度も花を見たことが有りません。その孫は来年成人を迎えます。

万田橋から集落の中に入る迄はゆるやかな坂道を少し歩きます。道路を挟んで右左は見渡す限りさとうきび畑ですが、途中の道沿いの畑に牛の草を植えさせてもらってました。牛の草だけでは味気ないと思ひ道路づたいに花壇をつくり、アジサイを30本植えました。苗は家の庭のアジサイをさし木したり、株分けしたりしたものです。昨年11月の剪定がきいたのか今年アジサイが見事に咲いてくれました。年中雑草との戦いですがその草の中にも時期になるとちゃんと芽を出して自分をアピールしている花の生命力に感動し草取りも楽しくなります。

ある時道端で私が花の草取りをしていると、一人のおばあちゃんが声をかけて来ました。旦那さんと喧嘩をしてやりきれない気持ちで家を出て来たけど、あなたの花を見たら又思い直して畑仕事頑張れたヨ、という声を聞き、花の力は凄いなど、

花を植えてよかったと、私の方が励まされた思いでした。

少しでも四季折々の花をと心がけているのですが、夏の日差しが強かったり水かけができなかったり、台風に見舞われたりと思い通りに行かないのが常ですが、何といても花は心からの友であり私の健康のパロメーターにもなっている事は言うまでもありません。

- ❖ 花からもらった元気を他の人にも分けてあげたい。
- ❖ お正月、お盆に都会から里帰りする方々の目に久しぶり見る故郷はどんな風に映るのだろうか？
- ❖ 子や孫達に、こんなすばらしい故郷がある事を忘れないで欲しいという思いで、お正月、お盆になると草取りに勢が出ます。

「夢」振興会については今回初めて知りました。こんな事で少しでも皆様の働きに貢献できれば幸いです。

学生時代を思い出して私が印象に残っている啄木の詩を一つ添えたいと思います。

“友がみな 我よりえらく 見ゆる日よ
花を買い来て 妻と親しむ”

令和元年10月15日

「夢」振興会様の御健闘をお祈り申し上げます。

モンゴル行き所感

徳之島「夢」振興会議理事新富国際語学院長 川畑 進

1 初めに

この度、2019年10月10日（木）にモンゴル国の首都ウランバートルで公益財団法人徳田財団から現地のバヤスガラントイ・デルヒー・メッド病院及びトソンツェンゲルソム総合病院への超音波診断装置（以下「エコー装置」という）の贈呈式が行われた。時を同じくして、ソフィアグローバル株式会社の徳田秀子取締役会長からの命により、小生もウランバートルのモンゴル高専（日本語教育センター）訪問の件もあり、幸運にもこの贈呈式に参加させて頂きました。ここに同イベント参加の一員として参加所感を述べる。

2 モンゴル国とは

私は早朝の冷たい空気を感じながら、ホテルからウランバートル郊外にあるモンゴル高専に渋滞の車両間を縫うように向かった。校内で教職員朝礼が08:30 きっかりに始まり、各教員の手短な話の後、M. セルゲレン校長が皆に軽くうなずいた。やがて遅れてきた教員の合図で日本式の朝の体操が始まった。まるで日本の町工場の始業開始のようである。私は先ずセルゲ

レン校長に新富国際語学院への留学生入学（2019年10月生）のお礼を述べた。その際、同校長から「現状、モンゴルでは大学や高専を卒業しても就職先がない。特に厳冬期（11月から2月まで）の土木等の屋外作業は困難であり、失業者が急増する。今後、屋内での就業可能なIT関連産業の発展が求められるが、そのインフラ整備も人材育成もこれからの課題である。他方、モンゴルには医療施設も不足しており、日本のような介護福祉施設もまだ存在していない。患者は韓国等国外での高額治療を受けざるを得ない面がある。また、看護師も不足している。モンゴルの若者の日本留学促進を図り、日本でいろいろな分野で就業した後、将来、母国の発展に貢献してほしい」旨、語ってくれた。

ホテルへ戻る車中、案内してくれた地元の方にウランバートル市内の暮らしぶりを聞いてみた。「肉類（牛肉、羊肉、馬肉や山羊肉）は豊富で安い、野菜類はほとんど輸入物であり、物価が高い。この国の人口の約半分（46%）が首都に集中している。そして35歳以下の若者が人口の半分近くを占めているが若者の就職先が十分確保できない。車社会になり大気汚染がひどくなっている。特に近年、ウランバートル郊外に多くの遊牧民がゲル（木の骨組みをフェルトでおおった組み立て式の丸い家）を張って居住するようになり、その暖房（石炭）もスモッグの一因になっている」とのことである。「子供には留学等で学問を修めて、将来良い仕事に就いてほしい」というのが親の切なる願いとのことであった。私が「子供が大きくなって外国に行ってしまうと寂しくないですか」と尋ねると、「モンゴルでは末っ子が家族の面倒を見る慣習があるので心配ない」とのことであった。少子高齢化の日本社会と比較するとモンゴルの社会慣習や人口の年齢構造はかなり違うようだが子供の将来を願う親の気持ちに国境は無いと思った。

モンゴルの歴史上、1206年モンゴル部族のテムジンが各部族を統合し、クリスタイル（部族長会議）でモンゴル高原の全遊牧部族の君主であるハン（汗）の位に推戴されて成吉思汗（チンギスハン）となり、モンゴル帝国を建国した。1211年ころから前後3回にわたって金（王朝）に侵入して、黄河以北を攻略し、1215年には金の中都（現在の北京）を陥れた。更に西進してロシア、ペルシアにも侵攻した。その孫第5代皇帝クビライ・カアンは国号を大元と定めた。現在の中華人民共和国首都、北京はクビライ・カアンが1267年から26年を費やして造営した都市で、元朝の冬の都（冬営地）であった。その後モンゴル帝国は南方のビルマやベトナム等のインドシナ半島、ジャワスマトラにまで侵攻した。日本には元寇として1274年（文永の役）に約900隻4万人、1281年（弘安の役）には約4400隻14万人の大軍で侵攻したが二回共に北条時宗の鎌倉武士団と台風で侵攻軍は破壊された。

現在のモンゴル国は、東アジア北部に位置し、東と南の二方向を中国内モンゴル自治区と、西を新疆ウイグル自治区、北をロシア連邦とそれぞれ接する内陸国である。モンゴル高原のうち、外蒙古と呼ばれたゴビ砂漠以北の一带にほぼ該当する領域を国土とする。外務省の一般事情によると面積は156万4,100平方キロメートル（日本の約4倍）、人口が323万8,479人、首都はウランバートル（人口149万1,375人）である。民族はモンゴル人（全体の95%）及びカザフ人等、言語はモンゴル語（国家公用語）、カザフ語、宗教はチベット仏教等（民主化以降復活し、1992年2月の新憲法下、信教の自由を保障）、政体は共和制（大統領制と議院内閣制の併用）、元首はヘルトマー・バートルガ大統領（2017年7月10日就任）、議会は国家大会議「一院制、定員76、任期4年、直近の総選挙：2016年6月（人民党64、民主党8、人民革命党1、無所属2、欠員1）」で構成されている。モンゴルの気候は、乾燥帯でステップ気候と呼ばれ、夏は最高気温45度C、

冬季は氷点下60度C、年間平均降水量が僅か250mmの典型的乾燥地帯の厳しい環境にある。

一般的にこのような厳しい風土で生活しているモンゴル人は勇敢で誇り高く寛大であるとも言われる。モンゴル出身力士が日本で活躍していることもあり、現地の方々は我々日本人にとっても親近感をもって接してくれる。案内の方や学校関係者も皆、大変丁寧で素朴な心優しい人であるという印象を私は受けた。実際、2011年3月11日の東日本大震災に際して、時のバットボルド首相は翌日に「日本は、モンゴルが民主化した後、非常に厳しく困難な時期に力になってくれ、今でも支援を続けてくれている。モンゴルの最大のドナー国である日本の国民が被災されているこの時期に、我々モンゴル人は力になるべきである」とのメッセージが発表し、100万米ドルもの政府義援金の他、国家公務員全員とウランバートル市役所職員全員が1日分の給料を義援金として拠出することを決定し、多くの民間企業や個人の皆様からも日本への寄付が表明された。政府の義援金口座に集まった金額だけでも日本円にして約1.5億円に達した。(出典:独立行政法人国際協力機構)

3 贈呈式

ウランバートル市(東京タワービル)で行われた贈呈式には、本邦から同財団列席者の「徳田眞理 理事長」以下、ご主人の「COLOBONG/VENER JOHN BARTOLOME理事」、「多賀谷朋子財団事務局長、田中幸一財団部長、宮田修財団コーディネーター」それに新富国際語学院の川畑も参加させて頂いた。モンゴル側から先ず、KYOKUSHU グループゼネラルマネージャー旭鷲山昇 D. Kyokushuzan Batbayar (ダワーギーン・バトバヤル、大島部屋所属の元大相撲力士「以下旭鷲山という」と奥様(国民的人気歌手)のバヤスガランさん、次にウランバートルハンオール区のバヤスガランタイ・デルヒー・メッド Bayasgalantai Delkhii Med 産婦人科クリニック副社長: ジャルガル氏、院長: ムンフツェツェグ氏が参加した。そして、ウランバートルの西約1000 km先にあるジャブハン県の元県知事、元労働大臣で現在の国会副議長 SANJMYATAV Yadamsuren (サンジムヤタブヤダムスレン氏)、トソン・ツェンゲル郡総合病院院長: H. ツェツェグデルゲル氏が列席した。そしてモンゴルの政治家・外交官で、駐日大使(2006~2012年)や鉱業大臣(2014~2017年)を歴任した Rentsendoo Jigjid (レンツェンドー・ジグジッド) 元鉱山大臣や他の元政府閣僚等、在モンゴル日本大使館 林伸一郎参事官も参列した。

贈呈式では先ず、旭鷲山から次のような挨拶があった。「本日はモンゴルの保健・スポーツ界においてとても素晴らしい日だと思います。徳田財団・徳洲会は300以上の医療施設や180以上の病院を運営する世界で三番目に入る財団であります。徳田虎雄先生は自分が日本で相撲取りの頃から私を応援して頂き、心より感謝を致しております。本日、徳田虎雄先生は健康上の理由で来訪できませんでしたが、娘さんの徳田眞理様が財団を代表してモンゴルに来て頂きました。医療診断機器は日進月歩改良されているが、ここに2019年の最新型のエコー装置2台を徳田財団からモンゴルに受贈できることに心より感謝を致します」

次に徳田眞理財団理事長から「私の父徳田虎雄は『生命だけは平等だ』の理念の基、言葉や文化、宗教の違う国々と交流して一緒に病院をつくろうという夢を掲げてブルガリアやブラジルに病院を建設するとともに人工透析装置や医療機器を世界各国に贈呈して多くの患者を救ってきた。この度、徳田財団としてここモンゴルの病院にエコー装置をバヤスガランタイ・デルヒー・メッド病院及びトソンツェンゲルソム総合病院にそれぞれ贈呈を致します。このエコー装置は病気の早期発見に優れた医療機器であります。最新の機器の贈呈に伴い、モンゴル国の医療健康の大きな発展につながるものと思います。徳田虎雄はこれまでも世界のいろいろな国で病院や医療施設の建設支援そして人工透析装置やエコー装置等の贈呈も行ってきました。これら国々の医療施設の運営を現地の方々に任せるとともにその利益も全てその国に還元して

おります。徳田財団はできる限りモンゴル国だけでなく他の国へも引き続き贈呈を行いたいと思います」旨、挨拶があり、それぞれの病院代表の方に目録が贈呈された。

このエコー装置贈呈を祝して、参列者のモンゴル駐在日本大使館（林伸一郎参事官）、そして「レンツェンドー・ジグジッド氏元鉱業大臣」からモンゴルと日本の国際交流の大切さと徳田虎雄の功績や徳田財団への心温まるお礼のお言葉もあった。その後、モンゴル国関係者に信頼が厚く、日本とモンゴルの発展に貢献されてきた宮田修財団コーディネーターによる声高らかな乾杯音頭に続いて昼餐会が行われた。この間、キャノンメディカル代理店CIT社によるエコー装置の紹介と説明、更に馬頭琴の演奏等もあり、会場は大いに盛り上がった。宴もたけなわとなり、地元テレビ局から急きよ「徳田眞理財団理事長」への記者会見があり、地元テレビ局記者から「このエコー装置の贈呈について、今後はどのようにお考えですか」の質問に対し、徳田眞理財団理事長は「徳田財団は、これまでも人工透析器等も贈呈してきたが、我々は単に医療機器を贈呈するだけでは本来の病気を治療することにはならないと考えております。やはり、モンゴルの方々がその病気の原因を調べて、自分たちで治療ができるようにすることが大切でそのような解決に向けて協力支援ができればと思います。徳洲会も徳田財団も『患者本位の真の医療』を目指しております」と丁寧に回答したのであります。

4 「さくらインターナショナルスクール」及び病院建設現場の訪問

贈呈式終了後、一行は、旭鷲山と奥様の案内で「さくらインターナショナルスクール」を訪問し、各クラスの児童生徒から元気良く明るい声で熱烈的な歓迎の挨拶を受けた。そして食堂では児童生徒が目をは輝かせながら寄り集まって我々に声をかけてくれた。この学校の図書館内の壁面には児童生徒がアフリカの各種動物や太洋のイルカや魚類、宇宙で活躍するロボット等を描いた色とりどりの絵が掲示されていた。私は子供たちの夢や希望が既に母国から他の世界、宇宙へ広がっていることを理解するとともに、近い将来モンゴルの未来を担う若者がこの学校から育っていくものと感じた。

更に我々は、ウランバートル郊外の病院建設現場に案内された。山裾の高台に「既に建築済みの病院建物（400床規模）」がそびえ立っていた。また、その近辺には建築途中の「医者・看護師の宿舎」もあった。旭鷲山から「今後建物外壁塗装や内装工事に移り、来年8月頃までには完成見込みである。更にウランバートルの市役所もこの周辺地域に移転してくる予定であり、この病院周辺は近い将来に大きな商業地区に発展すると思う」旨、強調していた。更に旭鷲山は次のように目を輝かしながら我々に語ってくれた。

「私は今から17、8年前に徳田虎雄先生から母国に病院を創設する夢をもって頑張るようにとの激励を受けて日々精進して来た。ウランバートルでの事業運営（さくらインターナショナルスクール運営やマンション等の賃貸業）が軌道に乗り、ここによくやく400床の病院建設を開始し、現在80%ほど完成している。私が日本で相撲に打ち込んでいる頃に、母国で貢献することを奮起させてくれた徳田虎雄先生の恩義に心より感謝しております。この徳田虎雄先生はモンゴルにも何度か足を運んで頂きモンゴルの医療貢献に尽力されてきました。この幾度の功績を称えて、新設病院には「徳洲会等の徳田虎雄先生の名前にちなんだ名称」を付けたいと考えています。これから医者や看護師、事務スタッフ並びに各種医療機器も準備して行く必要があります。是非御指導、御支援を賜りますようお願いを申し上げます」

5 結び

このユーラシア大陸の奥深いところにあるモンゴルに徳田虎雄先生の「生命だけは平等だ」の理念・哲学が伝承され、その薫陶を受けたモンゴル出身者（旭鷲山）が徳田虎雄先生の恩義を忘れずその夢を育み、その実現に向けて奔走している姿

を垣間見て私自身、感動を覚えた。そしてモンゴルの将来を担う子供たちの元気な姿と輝く目を見て勇気づけられた。私も外国人留学生に対する日本語教育をライフワークとして位置づけて、千葉市において地域の介護・福祉施設や事業協組合等とも連携し、徳田虎雄先生の「生命だけは平等だ」の理念・哲学の基、実用的日本語指導、日本文化及び商慣習の理解促進により留学生の夢実現を図る所存である。

最後に、この場をお借りして徳田財団「徳田眞理 理事長」他、関係者の皆様そして、モンゴルのKYOKUSHU グループ 旭鷲山ゼネラルマネージャー他、関係者の皆様に心よりお礼申し上げる次第です。



モンゴル高専



旭鷲山昇「D. KyokushuzanBatbayar (ダワーギーン・バトバヤル氏)」



徳田眞理理事長



バヤスガランタイ・デルヒー・メッド病院への目録贈呈



トソンツェンゲルソム総合病院への目録贈呈



贈呈式(昼餐会)



贈呈式（記念撮影）



さくらインターナショナルスクール訪問



建設中の病院

**ソフィアグローバル株式会社
新富国際語学院「Shintomi International Language Academy」**

千葉県千葉市花見川区南花園二丁目5番19号

電話 043-276-5828

FAX 043-276-5827

URL:<http://www.shintomi.jp>

ソフィアグローバル株式会社の理念

「生命だけは平等だ」の理念の基、実用的日本語指導、日本の文化及び商慣習の理解促進により留学生の夢実現を図る。

- ◎ 安心して学生を預けられる日本語学校
- ◎ 生活指導や進路・就職指導により、留学生を守る日本語学校

取締役会長 徳田 秀子

取締役副会長 越澤 靖久

専務取締役 川畑 進



アクセス：最寄り駅JR新検見川駅から徒歩3分、京成検見川駅から徒歩5分

「夢」振・賛歌 **花の徳之島**（平成20年発表）

作詞 利元一郎（轟木出身）

作曲 久永 美智子

編曲 泉原 孝仁（井之川出身）

振付 木村 浩子（旧姓立花）

1. （男）咲いた咲いたよ ハイビスカスが 空の青さに 人情け 気候温暖 住みやすく 笑顔で語る

しまんちゆ 島人に（ソレ） こころいや （二人）心癒す 徳之島 花の花の徳之島 一度は おいで

2. （女）咲いた咲いたよ そてつ 蘇鉄の花が あおさ 海の紺碧に 夢染めて 気候温暖 住みやすく 島の娘の

やさしさに(ソレ) (二人) 心ひらく 徳之島 花の花の徳之島 一度は おいで

3. (男) 咲いた咲いたよ アダンの花が^{あした} 母の笑顔が 目に浮かぶ 気候温暖 住みやすく 未来を語る

しまんちゆ 島人に(ソレ) (二人) 心躍る^{こころおど} 徳之島 花の花の徳之島 一度は おいで

4. (女) 咲かせましょう 貴方の花も 溢れる思い 郷土愛 気候温暖 住みやすく 踊り明かした
十五夜に(ソレ) (二人) 心酔わせる 徳之島 花の花の徳之島 一度は おいで

(この歌はカラオケ店で歌えます)

※ 茨城県古河市で歴史を積み上げて来た「ひだまりグループ」
総勢145名で介護職を務める！！

※ 平成30年10月1日から「障害者総合支援法」のグループホーム
「高野の森」を開設(3ユニットで24名の入所者を迎えました)。



四よつ
本もと
博ひろ
文ふみ

古河市議会議員(六期目)
議員報酬を日当制に

※「徳友会」顧問
※元国会議員秘書(政策・広報担当)
※ひだまりグループ(デイサービス福寿苑)顧問
※介護施設・障がい施設を設立

実績と行動力で全力投球

よつもとひろふみ
〔四本博文の経歴〕

- ・鹿児島県で中学・高校の教師歴任
 - ・新聞社編集長
 - ・元国会議員秘書
 - ・NPO法人理事長
- ※スポーツ少年団(男子)
「古河・嵐」が全国大会で準優勝
(総合監督)

福祉施設の設立

- ・介護タクシー・高齢者住宅
- ・サービス付き高齢者向け住宅

自宅 〒306-0032
古河市大手町4番1号
電話 0280-33-8005

- ・奄美・徳之島世界自然遺産登録
- ・LLC(格安航空)の導入

泉重千代翁法要実行委員会・代表

【活動拠点】〒891-8321
鹿児島県大島郡伊仙町阿三1137
電話 0997-86-2264
特定非営利活動法人
『生命と環境保全ネットワーク』
携帯 080-5408-2580

相撲甚句「夢」振興会 (平成18年発表)


作詞 元力士：一ノ矢 (大相撲初の国立大出身力士)

本名 松田哲博 (徳和瀬出身)

♪ (ハアードスコイ ドスコイ) ♪ ハアーエー (ハアードスコイ ドスコイ) 故郷離れて 幾年月ヲ
(ハアードスコイ ドスコイ) ハアー いつも心に 徳之島 青い海山 さとうきびチュッキヤイ節の
三線(さんしん)の 唄こゆれる 赤花のハイビスカスやガジュマルと 全島一(ぜんとういち)の闘牛で
熱き心を滾(たぎ)らせて 生きてきました 大和世(やまとうゆ)で せめて少しの恩返しフラワーロードに
夢託しワイド祭りで 輪を広げ 山古志村まで 夢振興 この度目出度く NPO キバレー 島人(しまんちゆ)
ヨーホホホイ ハアー 夢振興会ヨー (ハアードスコイ ドスコイ) ♪

徳之島「夢」振興会議の理事就任挨拶～『徳之島との懸け橋の一助に努力』～

くお願い致します。

<p>総合結婚式場・大小宴会場 ホテル ニュー にしだ ニューにしだレンタカー 観光に・ビジネスに街中の快適ホテル 〒891-7111 徳之島町亀津7380 TEL : 0997-83-2400 西田不動産 (土地建物売買他)</p>	<p><u>里帰り・団体旅行のご用命は</u> (株)楽園企画 (旧奄美旅行センター) (鹿児島県知事第3-227号) 〒891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花1417-1 モトゾノカネモリ ☎090-1404-2639 (本園金盛) F0997-97-4103</p> 
--	---

<p>うまい!! やすい!! 新鮮!! テーブルが華やぐ・会話がはずむ リピーター率全島一が自慢 居酒屋 「風来坊」 代表 町田 好弘 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 店TEL : 0997-82-0084 (旧天梅堂2F) 自宅TEL : 0997-82-0084</p>	<p>西郷隆盛に学ぶ 「敬天愛人フォーラム 21」 代表世話人 内弘志 どうなる日本・どうする日本 今こそ西郷隆盛に学ぶ ● ボランティア募集 : 月1回上野の銅像の周辺を掃除しています 西郷隆盛会館 〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-22-6-6F TEL03-5295-2571 FAX03-5295-2573 http://www.keiten-aijin.com E-mail:uchi@giftbank.co.jp</p>
--	--



国際法務
川畑行政書士事務所
ILAKO



行政書士 川畑進

ADMINISTRATIVE SCRIVENER
SUSUMU KAWABATA

〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-16-20 めかりやビル6階 610
TEL 03-6871-9548 個人携帯 080-5514-0727 (Mobile)
Nukariya bldg. 6F #610, 1-16-20 Minami-Ikebukuro,
Toshima-ku, Tokyo 171-0022 JAPAN
E-mail: ilask01@yahoo.co.jp



- 各種在留資格の認定、変更、更新等の許可申請 : Certificate of eligibility status/Change Status/Extension period of stay application
- 技術・人文知識・国際業務の申請 : Visa Application for Engineer Specialist in Humanities and International Services
- 技能ビザの申請 : Application for the Skilled worker Visa
- 経営・管理 : Business Manager
- 永住許可申請 : Permanent residence permit application
- 短期滞在 : Short stay
- 帰化申請 : Naturalization application

オーシャンビューで風光明媚なロケーション。
ホテル&地場産食材活用レストラン
(空港・港からの送迎あり)

遊学リゾート『きむきゅら (心美ら)』

代表 時亮

〒891-7115 大島郡徳之島町下久志1132-1
TEL & FAX : 0997-84-1186

カラオケスタジオ『煌』

ぬ
飲みちゃあんどぅきん、
もおちいたぼれ
徳之島料理が出る
居酒屋風の気さくな雰囲気。

住所：埼玉県朝霞市三原2-34-25 斎藤ビル2階
最寄駅：東上線朝霞台駅。JR武蔵野線北朝霞駅
店主：当山れい子(徳之島、天城町岡前出身)
携帯：080-1190-5338

夏目踊りは、井之川の人々の心に親睦と絆をもたらしてくれる祖先たちの魂の遺産。郷土のシマロ・伝統芸能で「心のシマ興し」

徳之島町文化協会 会長
徳之島町文化財保護審議会 会長
井之川高齢者クラブ 会長

町田 進

〒891-7114 大島郡徳之島町井之川440
TEL & FAX : 0997-82-1210 携帯 : 090-9603-1210

川崎市社会教育委員会議
中原市民館専門部会委員



福井 巖

Iwao Fukui

〒211-0004 神奈川県川崎市中原区新丸子東 3-1204
プリリア武蔵小杉 1806
(☎) 044-820-6231 (機) 080-6612-7226
Email: iwao.fukui.lewis@gmail.com

NPO法人 徳之島「夢」振興会議 フラワー委員
下久志はつらつ会会長
徳之島警察生活安全モニター



HATAYAMA IKUO

畑 山 育 男



〒891-7115 鹿児島県大島郡徳之島町下久志209
携帯：090-3471-4700
Mail:hatafuranhome481113@yahoo.co.jp

株式会社マリンカーゴ沖縄

Marine Cago Okinawa Co.,Ltd.

代表取締役



宮崎 茂穂

MIYAZAKI SHIGEHO

国内全国へ車輛、バイクの輸送
コンテナ販売、リース
引越貨物、一般貨物輸送
海外輸送(コンテナ、車輛、貨物)

〒900-0001 沖縄県那覇市港町1-16-10
TEL:098-987-7337 FAX:098-987-7447
H/P:080-1738-3192
s.miyazaki@marine-cargo.net
http://marine-cargo.net

各種コンベヤー製造
設計・据付・保守

有限会社

しょうえいこうぎょう
正 栄 工 業

当社では、コンベヤシステムのプランニングから設計・製作・据付・メンテナンスまでを行い、生産・物流ラインに最適なものをご提供いたします。豊富な経験ときめ細かくスピーディーな対応で生産性の向上に貢献し、常にお客様の視点で物事を考え、満足していただけるようなサービスを提供してまいります。そして、お客様とともに成長する企業でありたいと考えております。

代表取締役 **國元正俊**

- ◆旧徳之島高校 **國元 繁** (亀津・昭45年生)
- ◆大島工業高校 **徳 玲王奈** (名瀬・昭57年生)

〒661-0977 兵庫県尼崎市久々知2丁目26-6
Tel:06-6491-5930 Fax:06-6491-7717
<http://www.shoei-kogyo.jp/>

コンベヤのことならご相談下さい





Total Support Business

株式会社ユイワーク・サポート

代表取締役 **宮原たつ子** (天城町松原 出身)

〒141-0022 東京都品川区東五反田3-20-10-101

TEL. **03-5449-8320** FAX. **03-5449-0347**

Mail **info@yui-work.net**

URL **http://www.yui-work.net**

業 務 内 容

業 務 代 行
サ ー ビ ス

- ・電話受付、通販受付等のコールセンター業務
- ・テレワークを活用したコールセンター業務
- ・データ入力および事務処理代行サービス

インターネット
関連

- ・ホームページ制作
- ・SEO等、IT関連サービスコンテンツの提供

そ の 他

- ・NPO法人 徳之島「夢」振興会議 協力事業
(徳之島産直品《タンカン・マンゴー、黒糖焼酎 他 の 物 産》)

島の恵みを伝えたい。
島の恵を届けたい。
島の恵を残したい。

徳之島の原材料海塩・黒糖・モリンガオイル、ギニアのシアバターを使用した美容石けん（ゆいの島石けん）、オイルニチン・アセロラ・長命草エキス入りサンコンウコン

奄美海援隊株式会社

代表取締役 **小林 正人**

本社：鹿児島県大島郡徳之島町亀津 3679 番地 8
東京支社：東京都葛飾区新小岩 1-56-14-307
メール：amami-1009@mx2.alpha-web.ne.jp

T & T 株式会社

代表取締役

ティアンドティ **鶴野 忠光**

〒140-0013 東京都品川区南大井 3-7-2

TEL:03-5763-0202 FAX:03-5762-7517

阪営業所 〒566-0033

大阪府摂津市学園町 1-6-23

TEL:072-630-6701 FAX:072-630-6702

徳之島産 黒糖焼酎のご案内

長寿世界一「泉 重千代」翁も毎晩愛飲された徳之島の自然の恵み
をいっぱい浴びた「さとungskibi」から作られたミネラル豊富な黒糖焼酎！

奄美 30度		奄美パック 30度		奄美パック 25度		煌めきの島 25度	
							
6本入 12本入		6本入		6本入		6本入 12本入	
1800ml	¥15,180	1800ml	¥14,520	1800ml	¥12,870	900ml 6本	¥8,580
900ml	¥17,820					900ml 12本	¥16,896
ブラック奄美 40度		あじゃ 30度		島のナポレオン 25度		ルリカケス 40度	
							
6本入		6本入 12本入		6本入 12本入		6本入 10本入	
720ml	¥16,500	1800ml	¥14,520	900ml 6本	¥8,052	1800ml	¥21,780
		900ml	¥16,500	900ml 12本	¥15,840	900ml	¥25,300

お問い合わせ

注文先： NPO 法人 徳之島「夢」振興会議
酒類販売責任者： 宮原 たつ子

住所： 東京都品川区東五反田3-20-10-101 (株)ユイワーク・サポート内
電話： 03-5449-8321 (夢振専用) FAX： 03-5449-0347 (ユイワークと共有)
mail: bussan@tokunoshima-yumeshin.or.jp http://www.tokunoshima-yumeshin.or.jp

注文方法： 電話・FAXまたはメール ※ご注文は1ケース単位となります。

支払方法： 郵便口座へ送金 (発送時に郵便振替用紙を同梱)

※別途送料がかかります。

その他「徳之島産直品」に関しては、(株)ユイワーク・サポートが夢振協力事業として
お取扱い致しております。

販売時期	商 品 名
2～3月	たんかん・ジャガイモ
6～7月	パッションフルーツ
7～8月	完熟マンゴー・ドラゴンフルーツ
10～11月	シークニン
通年受付	黒糖セット・シークニン果汁製品・有機栽培グアバ茶及びびわ茶・ベニふうき茶等 ジュース類（マンゴー・たんかん・グアバ・生姜ドリンク）、黒ニンニク・ハワイヤ漬物他







皆さん是非徳之島物産品を飲み、食べ、お土産に差上げて徳之島の農家及び産業を育成して行きましょう。一人ひとりの行動が大きな力、うねりになり、産業が活性化します。どうですか、毎月1日は故郷の食材を1品食卓に並べて見ませんか。そこからUターン、Iターンは生まれ人口増や時々帰りたくなる活気溢れる徳之島が誕生します。

武蔵野大学コーナー

徳之島×武蔵野大学プロジェクト

寄付金ご納入方法

（銀行振込）

★振込人名入力の際に、お名前の頭に「トクノシマ」をご入力下さい。

例 「トクノシマ 氏名」

下記口座へお振込みください

下記口座にお振込みください

〔振込口座〕 三菱東京UFJ 銀行吉祥寺駅前支店
銀行No. 0005 支店No. 365
普通 No 5243802
学校法人 武蔵野大学
専務理事 田中教照（タナカ キョウショウ）

個人による寄付の場合、寄付申込書をご提出いただきますと、領収証と税制上の優遇措置を受けるために必要な証明書（写）をお送りいたします。

税制上の優遇措置（個人の場合）寄付者の選択によりどちらか一方の制度で申告することが認められています。

① 所得控除制度

[所得控除額] = 寄付金額（総所得金額等の40%が上限） - 2千円

確定申告の際に本学院からの領収証と特定公益増進法人証明書（写）を所轄税務署にご提出ください。

② 税額控除制度

[税額控除（所得税額の25%が上限）] = (寄付金額（総所得金額等の40%が上限） - 2千円) × 40%。

確定申告の際に本学院からの領収証と税額控除に係る証明書（写）を所轄税務署にご提出下さい。

ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

～お問い合わせ～

武蔵野大学 教育改革推進室 駒宮 知恵（こまみや ちえ）

東京都江東区有明3-3-3 TEL03-5530-7729 FAX03-5530-3812 <http://www.musashino-u.ac.jp>

（株）永瀆木材 代表取締役 永瀆 隆史氏の発案がこのように大きなプロジェクトを動かしました。

上記口座は武蔵野大学さんの、この行動に感謝の意で、「夢」振サイドより依頼して開設して頂きました。

「夢」振 事務局より徳之島関係者へお願い

武蔵野大学さんは産官学連携を大きな柱の一つに掲げ、我が故郷徳之島活性化（徳之島ナビ作成・農産物改良・農産物拡販方法の開発・自然遺産登録を控え観光事業PR等々）に向けて、2015年度より以後10年間に亘って代わる活動を展開しています。

私たちの心の支えである故郷が、この事業によって新しい徳之島、夢溢れる徳之島に生まれ変わると想像しただけで嬉しく心が豊かになりませんか。

私たち徳之島出身者として、誠にありがたく、感謝の気持ちを言葉だけでなく、形の上でお応えするとしたら浄財、その他で側面から支えて行くのが一番と考えます。

1,000円でも結構です。是非上記口座へ振込んで支援の輪を広げて行きましょう

毎年大勢の学生さんたちが徳之島の為に、自費で自炊しながら活動を展開していきます。故郷在住者は野菜、果物、お茶菓子の黒砂糖等等を差し入れて皆さんを励まして頂きたいと思います。

※ まだまだ我々のPR不足で十分に浸透されておりません。武蔵野大学さんのこの活動に徳之島関係者の感謝の気持ちを是非形で表し、学生さん達の熱い心意気に側面から応援致して行きましょう。

徳 三宝 異聞

「夢」振興会議、事務局長 松元啓一郎（ペンネーム、松原亜熱）

『エピソード、天狗の鼻を折る』

とくさんぼう

昭和十年、徳三宝四十九歳の時の話である。当時徳は柔道三昧の日々を送っていた。

毎朝八時半に羽織袴姿で自宅を出る。江戸川区平井から大学に向うのが午前の日課だ。日々、順繰りで早稲田大学、日本大学、拓殖大学、東大農学部などの学生を訓練して汗を流す。午後からは水道橋の講道館に行く。この時既に、徳三宝と三船久蔵みふねきゆうぞうは講道館の双壁と言われ斯界の羨望の的であった。四歳年長である三船が腕を組んで稽古を見守る中、徳は稽古着を着て有段者もさの猛者に火の出るような稽古をつけた。

夜は私塾、研道館で七時から九時まで門弟に指南した。門弟は二百名を超え八十畳の道場で毎夜百名ほどが指導を受けた。徳は私塾でも火の玉のような激しい鍛錬を課した。

遡って昭和八年。甥の指宿英造と竹馬の友、重田左録しげたさろく（仮名）が旧姓中学卒業後に徳之島から上京、二人は書生として世話になった。初心者はずぐの稽古は許されず百日間は座して稽古を見守るのが慣例だった。その為若い二人の脳裏に厳しい稽古風景が一層鮮明に焼き付いた。

自宅と道場の清掃が午前中の二人の日課だ。寡黙な伯父けおに気圧され額に汗してこなした。甥の英造が台湾へ医学の勉強に行った後も重田は残った。

昭和八年の秋、初代水谷八重子が徳三宝の自宅を訪れた。水谷八重子が和室に入り、腰を落としきざ跪座の姿勢から正座までの動きは将に妙なる所作であった。八重子は徳三宝の目をしっかり見てゆっくり頭を下げた。

お茶を出すのは書生の役目だ。その茶坊主は挨拶の言葉を述べた後、顔を挙げて妙みょうれい齡の美女をしげしげと見た。（重田だからシゲシゲ見たわけでは有りませんよ）徳は床の間を背に端座たんざしている。彼の睨む目にらを意識しながらも十八歳の左録はしばし目を離す事が出来なかった。かすかに見える抜き衿の項うなじ、細長い首、鼻筋の通った顔、それらが雪のように白かった。

水谷八重子二十五歳の時である。

『自分が講道館四段になれたのは徳三宝先生のお陰です』

と兄が常々言い、一度訪ねてお礼を言ってほしいとの事で天下の名女優、水谷八重子が来訪したのであった。

左録は水谷八重子を玄関まで見送り、客間へ戻るとすぐ、

「今の女の方、ずいぶん綺麗な人でしたね」

と左録は不覚にも師範の前で口走ってしまった。

これを聞いた徳は

「中学を出たばかりの分際で女の人を見て綺麗とは何事か！」

と鉄拳が飛んでくる刹那、

「左録さんが綺麗な人を見て、綺麗と言って何故いけないの！」

とキン子夫人が強烈な援護射撃してくれた。

「ムぬ……」

と三宝は口を一文字に結び、黙ってしまった。お陰で左録は難を逃れた。

閑休 題。昭和十年三月初旬、夜七時を少し回った頃である。研道館幹事長の毛塚善平六段が知人を連れて研道館道場に向っていた。道場は荒川放水路（現、荒川）に程近い所にあった。毛塚は偉丈夫いじょうぶでもう一人は長身瘦軀ちようしんそうくである。薄暗い外灯の下、懐中電灯が足元を照らし、夜陰に二人のシルエットが対照をなして動いていた。放水路から吹いてくる風が冷たい。三月とは思えぬほどの頬を切るような夜気だ。知人は警視庁で柔道の助手を務める加藤啓一（仮名）五段である。

加藤啓一はその日の夕刻に、五人掛けをやった。三度目だ。間断なく一人ずつ相手をして合計五人に勝つというものだ。相手は警視庁の若い巡査や巡査長である。

A と B は初段 C と D は二段、最後 E は三段である。加藤は十分にウォーミングアップして満を持しての五人掛けだ。第一陣の A は猛然と襲い掛かってきた。勝負には目上も目下もないといった感じだ。ただ A は次の瞬間、天空高く舞い上がった。巴投げである。こういうタイプは足を両腿に当てれば自分の力で飛んでゆく。B は A より慎重だ。少し固まっている。加藤が突進して大外刈りを掛ければ一回転して後方にバツタと倒れた。二段の C はうまく間合いを取って加藤の襟をつかんだ。ほっとする瞬間を逃さず両手で前に崩し、C の股間に加藤の太腿を当てて一気に振り上げた。内股だ。次の D も二段だ。D の大外刈りを切り返し強引に投げ飛ばした。加藤は自信もたつぷりに気持ちも乗って来た。いよいよ 殿しんがりの第五陣だ。E は六尺を越える大男だ。身長は遜色ないが加藤は細身だ。三段の E はのっしのっしと間合いをつめてくる。加藤は、「横落とし」が瞬時に閃いた。強烈に相手を後方に押す。E が前に出ようと足を浮かした瞬間、横に滑り込み引き手側に自分の体をひねるように捨て、相手をそのまま横に投げ落とした。

毛塚六段は腕を組んで五人掛けをじいーと見ていた。途中、うんうんとうなずいた。

加藤はこの五人掛けで以前にも増して実力が付いた事を自ら実感した。

更衣室で着替えを済ませ研道館に向った。桜田門の警視庁から山手線の有楽町駅で乗り秋葉原駅へ。そこで総武本線に乗り換えて平井駅で降りた。平井からは乗り換えなしで水道橋の講道館に行ける。徳三宝が平井に居を構えた一つの理由であろう。

加藤は好意を受けるか迷いがあってまだ謝辞が言えてない。途次、歩調を合わせ礼を言う機会を伺っていた。加藤は毛塚のちよりつ前に回り込んで佇立し頭を下げた。面長の顔の輪郭が外灯の薄明りに上下した。

「毛塚先輩、徳三宝師範の門弟許可の労を取って頂き有難う御座います」

と言ってまた頭を下げると加藤の七三に分けた髪が僅かに揺れた。

「聞けば君は十年も警視庁で柔道の助手を務めてくれているそうではないか。まだ私との付き合いは浅いが君の地道な貢献に少しは報いたいと思ってねえ。27歳の君はまだ伸び盛りだ。徳師範に稽古をつけてもらえば将来赤帯の八段も夢じゃない！」

と語勢を強めて M 字額の顔をニコリとさせた。三十六歳で研道館幹事長になって少しは人の為に役に立ちたいと思っていた。しかしこの時は少しお節介だったかも知れない。

「有難う御座います。意外と自分は負けず嫌いなんです。今の喜島先生（仮名）の下でも不満が有る訳では有りません。“南国の灼熱しゃくねつ ころかん」

と加藤は社交辞令を言ってゆっくり顎を引いた。研道館の稽古にさほど気乗りはしなかった。

間もなく薄闇の中に研道館道場から薄明かりが見えてきた。その後方には幅五百米メートルを越える荒川放水路がある。水深三米メートル超もある。漆黒の水面が闇の中に潜んでいる様は不気味だ。

（十年後の昭和二十年三月十日、闇夜の放水路周縁から花火のような光が八方に散る時、多くの老若男女が水中に飲み込まれ命を絶ったのである。B29 焼夷弾の為である。）

「ところで毛塚先輩。徳三宝師範はお幾つになられますか？」

と加藤は体を少し捻^{ひね}って毛塚に顔を向けた。彼は確認をしておきたかったのである。

「今年、十二月に齡（よわい）五十になられる」（ここでは数えの年をいっている）

と言下に答えた。歳はとつても徳師範の“技の切れ味”は稲妻のように旺盛であると強く感じていた。その思いが毛塚の口を突いて即座に出たのである。

が、加藤啓一はその思いを知る由もなかった。齡五十と聞いて内心がっかりした。その時ふと

「～人間五十年、化天のうちを比ぶれば夢幻の如くなり一度生を享け、滅せぬものあるべきか」

の断章を語りながら舞う織田信長の画像が脳裏に甦^うった。信長を戦国時代の革命児と仰いでいた。加藤は上記の幸若舞の「敦盛^{こうわかまい あつもり}」を「せいぜい五十歳で人生は尽きる」といった通俗的解釈をしていた。その為、『徳三宝、恐れるに足らず』の慢心が夏の入道雲のようにもくもくと沸き起こった。

二人は屋敷の近くまで来た。平屋の屋根は瓦葺だ。いぶし銀の瓦が夜陰に僅かに光を発して風情がある。凜とした知性の大和撫子^{かぶきもん}のようだ。庭はツゲやサツキ、イヌマキなどの植栽だ。周囲には竹垣をめぐらしある。大きな冠木門をくぐると左手が道場の玄関に、右手が自宅に通じる。

毛塚善平は左手に向かう。毛塚が玄関の引き戸を右に引く。少し遅れてガラガラと戸の音が鳴る。玄関の中は少し薄暗い。広さは十二畳は優にある。門下生他二百人以上の下足が収納できる下駄箱があり、杉材で出来た粗削りな質感だ。ここの主人の気性を表すかのような造作だ。

もうすでに「オー、イエーイ！ イヤー！」の激しい稽古の音が聞こえる。毛塚は玄関の式台上がり道場との仕切りになっている建具を徐に開ける。稽古の熱気がむんむんと伝わる。露出梁から傘つき白熱灯^{ほうこう}が降りて、夜道を歩いて来た二人には照明が少し眩しい。天井は屋根勾配に沿って檜材の斜め張りだ。そこから微かな木肌の芳香が漂う。檜の渋紙色の楕円形の節^{メートル}が単調な天井に一定のリズムを与えている。一般住宅の天井は平均二・四米である。桁が高く斜め天井のせいで二倍強の高さ感覚だ。二人は目が慣れる前に正面に向かって深々と一礼した。

毛塚善平は目が慣れて徳三宝の位置を確認すると右側の漆喰の白壁に沿って進んで行った。加藤啓一が後に続く。偶然に徳三宝の横眼と加藤のそぞろ目とが宙で一線に衝突した。

二人は徳師範が稽古を終えるまで座して待っていた。正座していた重田左録は向きを変えて毛塚善平と加藤啓一に頭を下げた。左録の膝にはタオルがのせてある。

徳師範が稽古を終えるのを見るや脱兎のごとく駆けてびよこんと頭を下げタオルを渡した。徳は五分刈りの頭や面長の顔の汗を拭きふき、強靱な体躯を運んで、おもむろに二人に寄って行く。毛塚と加藤は既に立ち上がり姿勢を正して待っていた。

「徳師範、こちらが過日お話しした警視庁で私の助手を務めている加藤君です」

毛塚善平は徳師範に目を合わせてから会釈した。

「私が、今紹介に預かった、加藤啓一五段です。宜しくお願ひします。」

と加藤はすかさず体を折って、ゆっくり起こした。照明が富士額^{ふじびたい}の顔を照らした。

「そうか、宜しくなあ。情けは人の為にならずと言って、警視庁での奉仕活動は良い事じゃ。左録、加藤君を採寸して道着を注文してくれ。それと掲示の通りだが道場の規則を伝えてくれ」

と言うとまた汗を拭き始めた。まだ顔から首、さらに胸と汗が噴き出している。

「分かりました。控室で採寸してそれから衣料品店に電話します。規則もお話しします」

重田はおおきな二重の目を輝かしてニコニコしている。尊敬する田舎の大先輩、徳三宝の門下生が増えるのは嬉しい。まして有段者ならなおさらだった。

「徳先生、私に今夜稽古を付けて頂けませんか？」

とうとつ きびす
加藤は唐突に言って、踵

「ナぬ・・・・」

徳はつぶやいたが、言葉を飲み込んだ。幹事長の紹介でもあり声を荒げるのを堪えた。

毛塚善平も驚いた。が、重田少年もびっくり仰天。“驚き、桃の木、山椒の木”である。(最近はブリキに、狸に、洗濯機とも言うようであるが)

研道館と本人の名前が縫い込まれた柔道着が出来て初めて稽古を付けてもらえる。このことは当時の柔道界の常識でもあった。

みつろ
「よかろう一。左録、行って道着を見繕って、着てもらいなさい！」

かいま
徳三宝の鋭い語気が耳を射した。重田は加藤啓一五段を目則した。だんだん紅色に変わっていく師範の顔を横目で垣間見た。

「分かりました。加藤さんどうぞついて来て下さい」

と身震いするのを感じながら言った。

道着の管理をしている重田にしてみれば、合う柔道着を探すのは難しくない。それより彼が鳥肌の立つ思いをしたのはこれからの展開である。

てい
間もなく柔道着を着た加藤五段が現れた。自信有り気に肩で風を切る態で徳に寄って行く。左録は恐る恐る付いてゆく。徳は腕を組んで、どんぐり眼をギラギラさせて待っている。

会話のやり取りが聞こえた門下生から隣の門下生へと次々に矢のごとくに噂が走っていた。

かたず
徳師範と加藤が対峙した時、既に水を打ったように道場内は静まりかえっていた。稽古が出来ぬほどに張りつめた空気だ。門下生等は道場の真ん中を開けて固唾を飲んで見守っている。

「宜しく願いいたします！」

いんぎん がね
と加藤が懇懇に頭を下げて体を起こす。両手を広げて襟を取ろうとするや否や「イヤー」と徳の割れ鐘のような声がした。次の瞬間、加藤を右前隅に崩し、釣り手で襟をしっかり握り、肘を外側に出して加藤を宙高く釣り上げた。左足を支点に体を回転させ畳に叩きつけた。徳三宝得意の『体落とし』ある。

技が早すぎて、全く対応できない。加藤は気を取り直して「イヤー！」と起き上がる。

ケンカ四つから加藤の引き手を手前に引く。体を捻って密着させ足をくの字に開く。くの字足に加藤を乗せ、真上に跳ね上げながら体を前に傾け一気に投げ飛ばす。

はねこし
『跳ね腰』ある。

「なにくそ！」と顔面真っ赤にして襲い掛かる加藤を自然体に組み直し、相手をグツと追い込む。負けずと加藤が右足を強く踏み出す。その瞬間に加藤の右足の外側に腰を落として滑り込む。加藤の足首を自分の膝裏に当てて横に崩しながら投げ落とす。『捨て身』ある。

徳三宝と加藤の一連の体の動きは佐々木小次郎の燕返しのごとく目に止まらぬ速さだ。二人の動きは重力の作用、反作用を繰り返しながら美しい弧を描いて収束する。新体操のリボンのように軽快で華麗な「動」の芸術である。

更に一本背負い、払い腰と続く。十分ほど経った頃。(加藤君もそろそろかなあ。わしの連続技によく食いついて来た。鍛えればまだ伸びる。)と自問しながら最後の大技に掛かる。

自然体で組んだ後、体を落として相手の下に潜り込む。加藤の太ももの付け根辺りに足の裏を当てる。徳は六尺(百八十cm)の長ちょうしんたいく身体軀でピアノ線のような弾力でシナル。腰のバネと手と足の相乗効果をいかんなく発揮する。長身瘦軀の加藤の体が宙を舞い五米近い天井に届かんばかりだ。ドスンと音をたて畳に落下した。『巴投ともえなげ』

遠くまで投げたのは『先生、参りました』と加藤五段に言わせる時間的余裕を与える為だ。いわば徳三宝の愛情だ。

加藤は半身を起し腰に手を当てて痛みに顔をしかめた。それから身なりを整え正座をした。

「参りました！」

と畳に額をつけんばかりに深々と頭を下げた。

徳は赤帯を締め直し、汗を拭きながら息を整えると

「加藤君、君に一つだけアドバイスしよう。勝とう勝とうと思うな。相手に動きを読まれる。加藤という名字の逆も真なりだ」
(徳は旧東京高等師範学校の出だ。学長であり師範でもあったのが講道館創始者の嘉納治五郎だ。週に十五時間も学長の意向で英語の暗誦をさせられた。よって“アドバイス”を使った可能性はある。)

「師範、加藤、勝とう、と洒落を言っているんですか？」

ニヤリと上目遣いで左録は聞いた。

「馬鹿者！」いっかつの一喝が道場の空気を割いた。

徳は少し顔を傾げて

「うーん、成る程、そう言う事もいえるか」

と重田に背を向けて徳は一人ニンマリした。

十分超の技のオンパレードは終わった。永遠に語り継がれる素晴らしい模範稽古となった。この試合に触発されて、門下生たちは一層愚直に修練に励んでいた。

加藤啓一が着替えに控室へ向かうと、徳は左録に目を向けた。

「久しぶりに、お前の実力を見てやろう。いつまでも茶帯ではだめだ！稽古を付けやる！」

「え、ええー。これからですか？」

と左録は困惑した。血の気が引く思いだ。実のところ明日は入学試験である。今夜は閉館後に試験のおさらいをしておきたかった。その為太鼓持ちならぬタオル持ちを買って出たのである。徳師範は重田左録が同郷の徳之島出身というので一層厳しい稽古を付ける。次の日は筋肉痛で歩くのがやっとだ。しかし受験を言い訳にはできない。(勉強も含めて普段の行いが悪いからだ一喝されるのが落ちだ)

「徳師範、今夜は私が重田君に稽古を付けましょうか？」

と女性の声が出た。声の主は吉岡百合子二段だ。女子門下生の中で断トツの実力の持ち主だ。

「なんだとオー・・・・・・・・」

と言ってから後が続かず、徳はしばし茫乎としている。

(突如キン子夫人に言われた事が徳の脳裏に甦った。貴方の青春時代は柔道とケンカに明け暮れ、女のオーもなかったでしょうけど、普通の若い方は恋も逢い引きもするものよ。門下生に女子学生が増えて、左録さんも口には出さないけど中の誰かを

好きになる事も、逆に好かれる事も有るの。恋路を邪魔する奴は馬に蹴られて死んじまえ！て言うの。良く覚えておいてね)

さすがはキン子夫人。東京生まれの東京育ち。若人の心の機微きびについてよくご存じだ。

「分かった。でも吉岡、手抜きはするな。あいつは・・・まあいいや、宜しく頼む」

これを聞いた左録は内心大喜びだ。喝采を叫びたいが師範の手前、ぐん一と堪えた。

毛塚善平は重田の傍らで加藤を待っていた。毛塚は以前から左録君が小百合さんに密かに心を寄せているのを感じていた。

それだけに三人のこのやり取りには思わず笑みがこぼれた。

吉岡小百合は容姿端麗ようしたんれい、宝塚歌劇団の男装の麗人れいじんを思わせる美人だ。すーと伸びた鼻筋と勝気に見える引き締まった唇が左録は好きだった。

重田は座して百日間稽古を見守る中で吉岡小百合に気付いた。切れのある技と俊敏な動作にまずは驚いた。一歳年上で東京農工大学に通う女学生と後で判った。左録は進路先を迷っていた。が、吉岡小百合を知ったことで、目指すは東京農工大学と決めた。

大学で会えること。柔道の話をつきかけに交際が出来る事。銀座で逢瀬おうせがしたい事。一緒に大学から研道館に行ける事。などなどを夢見てはワクワク、ドキドキする日々を送った。徳の甥なつ(妹の子供)の英造が去って、暫くホームシックに掛かった。が、恋の魔力はそんなことも吹き飛ばす。どういう精神の機序きじょかは解らぬが稽古をしなくても発揮できる魔法が恋の力だ。

吉岡小百合との初稽古は雲の上を歩いているようで地に足がつかなかった。金縛りに会ったように一つの技も出せず、心しんきろうに蜃気楼が出来た思いであった。数回の稽古で少し気持ちが落ち着いた。稽古中に東京農工大学を受ける事にしましたと小声で言うと吉岡小百合はニコリと笑って頑張ると言った。その夜左録は笑顔が脳裏から離れず明け方まで寝付けなかった。

吉岡小百合は明日受験がある事を知り師範と稽古を変わってくれたのである。

稽古が跳ねて自室に戻ると、明日は絶対に合格してみせるとの想いを一層強くした。

結果は見事合格である。重田少年は二つの春を手に入れた事になる。

こうなるとなぜか筆者は“重田、憎いやつ”との思いが突如沸く。読者諸賢はどうですか？

加藤は背広に着替えて道場に戻り、壁を背に謝辞の機会を伺っていた。徳はこれに気が付くと稽古を一旦止めた。ヤァーと手を挙げて、

「ご苦労さんだった。帰途は気を付けて帰りなよ。荒川の土手には時々 蝮まむしがおるからのう。徳之島のハブほどは怖くないがなあ」

と野太い声で言ってハツハツと笑った。

(三船久蔵へのライバル心が思わず出た格好だ。)

(三船の身長は160 cm、理論派、技も多様で柔軟。蝮は内地に生息、いわばヤマトウンチュウ。全長は約50 cm。毒性は出血毒と神経毒。季節によって昼行性、夜行性、冬眠性と多様。徳は180 cm。田舎者。感覚派で体落とし中心で技は剛。ハブは南島に棲む、いわばシマムン。全長平均150 cm、冬眠せず。毒は出血毒の単毒。とぐろを巻いて強引に襲い掛かる。これらの事から三船を蝮、徳をハブと筆者が暗に渾名した。)

道場を辞す時、加藤啓一は深々と頭を下げた。

道場からの帰路、加藤は清々すがすがしい思いで夜道を歩いていた。横には毛塚善平がいる。

「徳先生にはコテンパテンにやられてしまいました。年齢を聞いて見下したところが正直有りました。深く根を張る大木を

相手にしているようでした。齢五十と言えば多くの方が隠居に入る年なのにスピードと技の切れと云ったらあれはもう神業でした。今からでも柔道を教えて頂けるのは有り難い事です。毛塚先輩には心から感謝申し上げます」
と加藤は自分の不明と傲慢さを恥じている口吻だった。

「君は投げられても何度も立ち向かっていったね。徳師範はそういう人が好きなんだ。徳三宝師範は労を惜しまず誠心誠意鍛えてくれる方です。柔道一直線だ。これほど柔道を愛している人は他にいないでしょう。このことは自信を持って言えます」
徳三宝の私塾・研道館幹事長、毛塚善平六段は自らの言葉をかみしめた。

次回のエピソード二は『昔取った杵柄』だ。水谷八重子の招待を受けて明治座で観劇をする。芝居が跳ねるころ日本刀を振り回す三人の悪漢に徳三宝がどう立ち向かうか御期待下さい。

徳三宝夫妻と重田左録君は観劇して大いに感激したのは言うまでもない。

松元建設株式会社

Mnthly, Weekly Rent For Foreigners & Japanese

代表 松元啓一郎 一級建築士・宅地建物取引士

〒351-0035 埼玉県朝霞市朝志ヶ丘 4-2-16

Tel:048-475-2549 Cell:080-3125-3384 Fax:048-475-2133

E-mail: wapart8@gmail.com

一緒に「夢」を見ませんか。我が産土(うぶすな)、徳之島の「夢」を。クロトン、アダン、ハイビスカス等でまばゆい亜熱帯に染める「夢」です。花卉(かき)を100万本植えます。

あなたもそんな島なら行ってみたいはず。それが徳之島「夢」振興会議の心です。徳之島は「度感(とく)島」として「続日本紀」に西暦698年に登場します。爾来(じらい)、1300年以上も連綿と命を紡いで来た我が祖先に胸を張り、次の1000年につなぐ為の歴史の仲介役として「夢」振の活動を支えて下さい。

あなたの希望に「花の徳之島」を、記憶に「夢」振の心を刻んで下さい。

もう一つ「夢」振の大きな柱は徳之島の農家・産業を育てる事業です。

黒糖焼酎・たんかん・マンゴー等取扱っております。ご贈答、自家用に是非徳之島産を！

奄美群島体験型プログラム予約サイト「ピバ! 奄美」

令和元年10月1日サービス開始

奄美群島の島おこし、町おこしの一環として、国内外に向け、奄美群島の魅力を発信し、1人でも多くの方に群島に足を運んでいただき、島々の豊かで美しい自然や伝統文化に実際に触れ、体験をしていただくためのサイトをオープンしました。奄美群島内の体験型プログラムを「海空」、「山川」、「文化芸能」に分類し、多数の魅力的なコンテンツを紹介し、更に体験予約ができるサイトとなっています。

地元(奄美大島、徳之島)に活動拠点を持つ強みを最大限に活かし、地域の方々と「結いの精神」で密接な繋がりを築いていきます。

具体的には、

◆現在、既に体験型プログラム実施中の観光業の方々

→ 「ピバ! 奄美」のサイトをご利用いただきます

◆今後、新規に体験型プログラムを始められるの方々

→ 現在、コンテンツをお持ちでない方々とも連携をし、島興しの一環として、**新たな体験型プログラムの企画、開発、実現**を結いジャパンが推進しながら、サイトの充実を目指します

といった形で奄美群島の方々と連携強化を図っていく予定です。

お客様との料金の授受は弊社が行い、1か月分の料金を取り纏め、各催行者様へお支払いをするため、現地での煩わしい現金授受ほか、面倒な事務処理が発生しません。また、催行者様のご希望があれば、弊社で予約システム端末の運用代行も行っていますのでご利用ください。

今回のオープンでは、お客様の決済方法は銀行振込のみとなりますが、今後、クレジットカード決済やサイトの多言語化等の導入を進めていく予定です。

皆さまのご利用を心よりお待ちしております。



体験型プログラム予約サイト

「ビバ!奄美」



URL:<https://vivamami.com/>

～ 奄美群島と全世界を繋ぐ架け橋へ ～

シマ興士隊

一般社団法人結いの島グループ

結いジャパン株式会社 代表取締役 井藤 守仁

□大島本店 〒894-0026鹿児島県奄美市名瀬港町6-26-1F

Tel. 0997-58-8170 Fax. 0997-58-8171

□東京本部 〒112-0004東京都文京区後楽1-1-13 小野水道橋ビル6F

Tel. 03-5577-3959 Fax. 03-5577-3944

□徳之島支部 〒891-7101鹿児島県大島郡徳之島町亀津7378 福本家具1F

Tel. 0997-83-1192 Fax. 0997-83-1191

□神戸支部 〒653-0041神戸市長田区久保町6-1-1 アスタくにつか4番館東棟1F-113

Tel. 078-754-6833 Fax. 078-754-6832

祝・令和二年の年男・年女!! 昭和11年(85歳)・昭和23年(73歳)・昭和35年(還暦)・昭和47年(49歳)

幹事さん必見!!面倒な旅の手配もキッチリ行います。

徳之島の各中学校同窓会や子年「歳の祝い」里帰りツアーの準備は「結いジャパン」にお任せください!!

□鹿児島支部 〒892-0842 鹿児島市東千石町11-9

Tel. 099-813-7831 Fax. 099-813-7921

認知症予防効果のある”ノビレチン”成分含有量がダントツ！
(徳之島のスーパーフード「ヤマ・シークニン」に期待！)

「夢」振 理事 宮原 たつ子

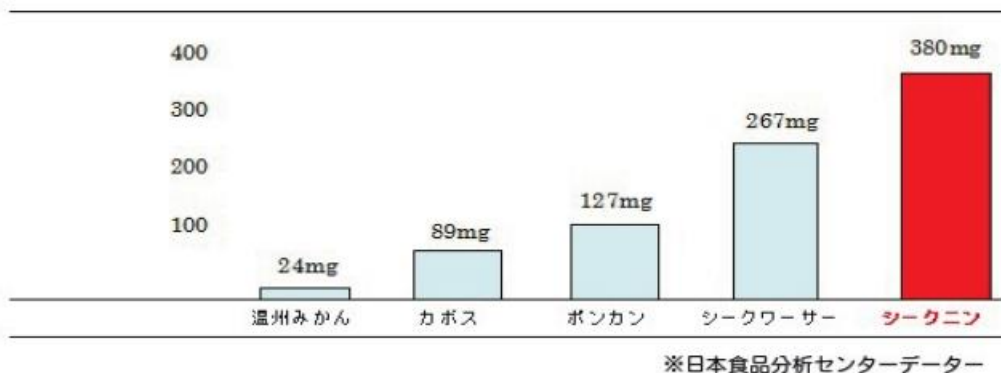
皆様「ノビレチン」という成分をご存知でしょうか？

10月15日20時～テレビ朝日「たけしの家庭の医学」という番組で取り上げられ、話題になりました。この番組では、沖縄のシークワサーがメインに取れ上げられましたが、何と、「ノビレチン」の含有量がシークワサーより多いのが、徳之島に自生してるヤマ・シークニンである事が食品分析センターのデータで明らかにされております（※下記グラフ参照）
「ノビレチン」が認知症予防に良いと言う事が判明したのです。

シークニンには、「ノビレチン」の他、タンゲレチン、ヘスペリジン（ビタミンP）も多く含まれており、美容への応用の可能性をもった素材と言われており、また認知症予防に限らず、毛細血管の強化、血中コレステロール値の改善、抗アレルギー作用、発ガン抑制作用、メラニン抑制効果、免疫力を高める、老化防止効果等々、徳之島のスーパーフードに認定されております。

昨年5月頃から、ヤマ・シークニンをメインに扱っている轟の「ダイキチ食品」様とご縁をいただき、ヤマ・シークニン製品をインターネットで販売をしていましたが、今回のテレビ放送以来、北は北海道から全国の方々から、ご注文をいただき、メディアの力の偉大さに感激をしているところでございます。

ノビレチン 含有量 比較表（100g当たり）



今回の放送では、ほぼ、シークワサーにお株を奪われてしまいましたが、それでも普段より注文量が増えたことで、徳之島を売り込むチャンスを得られた事に弾みがかかり、天城町の「うんぶき」と言い、メディアが徳之島に注目されていると言う事は、偶然であろうか？いや、必然だという節を、とある方から宮原が得た情報です。

令和の時代に入り、今まで影に隠れた存在が浮上して来る事が多くなるという事です。

裏を返せば、昨今の水害等も一度、水に流して新しくすると言う起こるべくして起きた事のように（地球規模の環境変化）

NPO法人徳之島「夢」振興会議に携わって15年の歳月が流れ、徳之島の物産販売を手がけて足掛け13年、夢振では当初、たんかんとマンゴーがメインで、定久理事の奥様で定久律子さんが物産販売を担当されておりましたが、その後を引き継ぎ、手探り状態からのスタートで、徳之島にいる徳高時代の同級生のご協力と情報を得ながら、取扱品を徐々に増やしつつ、年1回夢振事業の柱である「花いっぱい運動」サミットに帰郷する機会の際に、地元の生産者とお会いして、皆様方のお力添えやご協力を得ながら、弊社の得意とするインターネットを活用しながら、現在では楽天、au ショップ（Woma）、サンプル百貨店（ドコモユーザー向けショップ）、自社モールに25～30商品を掲載しております。

まだまだ、掲載内容が未熟で情報量も少ない状況であるため、他社・自社共にインターネットショップをリニューアルして、インターネットを武器にこの機会を無駄にする事なく、徳之島の未来のために、ただ物を買うと言うことではなく、徳之島の長寿の秘訣とか、土壌の良さを加味したインパクトある内容を最大限アピールして、来年度に控えております「世界自然遺産

今回の放送では、ほぼ、シークワサーにお株を奪われてしまいました。それでも普段より注水量が増えたことで、徳之島を売り込むチャンスを得られた事に弾みがかかり、天城町の「うんぶき」と言い、メディアが徳之島に注目されていると言う事は、偶然であろうか？いや、必然だという節を、とある方から宮原が得た情報です。

令和の時代に入り、今まで影に隠れた存在が浮上して来る事が多くなると言う事です。
裏を返せば、昨今の水害等も一度、水に流して新しくすると言う起こるべくして起きた事のようにです（地球規模の環境変化）

NPO法人徳之島「夢」振興会議に携わって15年の歳月が流れ、徳之島の物産販売を手がけて足掛け13年、夢振では当初、たんかんとマンゴーがメインで、定久理事の奥様で定久律子さんが物産販売を担当されておりましたが、その後を引き継ぎ、手探り状態からのスタートで、徳之島にいる徳高時代の同級生のご協力と情報を得ながら、取扱品を徐々に増やしつつ、年1回夢振事業の柱である「花いっぱい運動」サミットに帰郷する機会の際に、地元の生産者とお会いして、皆様方のお力添えやご協力を得ながら、弊社の得意とするインターネットを活用しながら、現在では楽天、au ショップ（Woma）、サンプル百貨店（ドコモユーザー向けショップ）、自社モールに25～30商品を掲載しております。

まだまだ、掲載内容が未熟で情報量も少ない状況であるため、他社・自社共にインターネットショップをリニューアルして、インターネットを武器にこの機会を無駄にする事なく、徳之島の未来のために、ただ物を売ると言うことではなく、徳之島の長寿の秘訣とか、土壌の良さ等を加味したインパクトある内容を最大限アピールして、来年度に控えております「世界自然遺産登録」を踏まえ、夢振及び関係各位の皆様方のご協力とご理解を賜りながら、今後も惜しまぬ努力をして行こうと考えております。ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

令和元年10月28日

ヤマ・シークニン果汁製品（贈答用お薦め）



シークニン果汁源液100%
300ml 2本セット（箱入）
¥4800（税込送料別）



シークニンポン酢&果汁源液100%
（箱入）
¥3200（税込送料別）



シークニンポン酢&シークニン入
ノンオイルドレッシング（箱入）
¥2800（税・送料込）

※詳しくは「徳之島産直品市場」で検索

お問い合わせ
（株）ユイワーク・サポートTel.03-5449-
8320 Fax.03-5449-0347 Mail: shimabussan@yui-work.net



第71代～73代 内閣総理大臣 中曽根 康弘 先生から「夢」振 10周年
お祝いメッセージの色紙です。

土屋 光男 氏(当時の徳田 昌則 理事長の友人)の依頼
で、書いて頂いて贈呈されました。

NPO 法人徳之島「夢」振興会議

入会のご案内

- ① 島のフラワー運動に対する協力事業
- ② 島の特産品PR 及び販売協力事業
- ③ 島の観光開発協力事業
- ④ その他島興しに役立つ関連事業 (例えば研究・調査)

	年会費
正会員	5,000 円
青年会員 (30 歳未満)	3,000 円
賛助会員	個人1口 1,000 円 団体1口 10,000 円
協力会員 (作業の協力)	年会費 ナシ

「夢」振だより 編集後記 (事務局長 松元 啓一郎)

前回の会報誌第17号の編集については町田専務理事に“おんぶにだっこ”でした。

今回第18号会報誌は『フラワー活動』特集にする予定でした。在島の方を中心に『フラワー活動』に関する寄稿文を関係者に依頼しました。いざ蓋を開けてみますと寄稿者の数が少なく、関東在住の理事に依頼して締め切りを8月末から9月末に延期しました。それでも編集者として不安を感じ『自由題』での依頼もしました。結果、当初の目標の50パーセントに何とか届いたとの思いです。

広告掲載については大口、小口も含めて前回より少なく、経済的である48ページには届かず、町田専務理事と相談して編末の数ページをメモ用紙として活用して頂くべく苦肉の策も取りました。

編集作業を通して、今後の「夢」振のあるべき方向性は町田専務理事の今回の寄稿文に全て網羅されており、後はその提言を実行するのみと思いました。

今回は私の不慣れ 切迫した状況で編集作業に入り寄稿者に再確認する時間が取れず、「校正、校閲」の時間も見いだせず、脱字や誤字、誤用があるかも知れません。この件はこの紙面を借りてお詫びいたします。